地方史情報 153

2022年1月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	長野県	25	広島県	43
青森県	3	静岡県	31	山口県	44
秋田県	3	愛知県	32	愛媛県	45
山形県	4	三重県	33	福岡県	46
福島県	4	滋賀県	34	佐賀県	46
栃木県	5	京都府	34	長崎県	47
群馬県	6	大阪府	35	宮崎県	47
埼玉県	6	兵庫県	38	鹿児島県	48
千葉県	7	奈良県	40	沖縄県	48
東京都	9	和歌山県	40	寄贈図書	49
神奈川県	21	島根県	41		
新潟県	24	岡山県	41		

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400
年5000円

◇85 2021.11 B5 8p

アイヌ語地名研究大会を開催します

アンルルという地名

山下 栄光

馬追丘陵南部ポロヌプリ周辺の信仰(供具)地名

クマネシリ・チライ・ヤムワッカ

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒063-0037札幌市西区西野七条9-7-5 TEL011-676-6145

年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org/>

◇70 2021.10 B5 80p 1000円

表紙絵図 「結婚願」(明治28年3月3日、国立公文書館所蔵)

巻頭言 映画「許されざる者」を見て考える 長沼 修

子思孫尊 山鼻開村150年をまちづくりの核に

一般財団法人山鼻記念碑保存資産 海堂 拓己

山鼻歴史散歩ガイドダンス 編集部

山鼻地区における土地利用と景観上の変化—旧山鼻屯田兵村地域の土

地利用の歴史の変遷と都市化による景観変化の実態 吉井優紀彦

北太平洋へのロシア進出と屯田兵の設立 江口 憲人

屯田兵のデザイン考 原始の森で見つけた逸品

えずこ(剣淵町郷土資料館所蔵)

歴史探訪 屯田に関する石碑—札幌近郊編(2) 武石 詔吾

古地図の散歩道 「篠路兵村土功組合灌漑溝全図」

大正4(1915)年頃作成(札幌市北区・屯田郷土資料館所蔵)

篠路兵村土功組合灌漑溝全図 離村寸前 命運賭けた水路網 梶田 博昭

屯田兵村の村落文化について 有馬 尚経

表紙から 古文書録 陸軍武官結婚條例(明治14年制定)

北海道における仏教の歴史と開拓(上) 北国 諒星

一節抜粋 河原崎暢著『札幌を開府した島義勇 解任と梟首の謎』

(O)、三木田頼嗣ら有志編『北海道への移住を偲んで 淡路から碧
葉へ』(K)

屯田兵ルーツ情報 琴似兵村の初代村医の実態解明へ／消息情報

黍団子ときびだんご (E)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇386 2021.11 A4 8p

伊達市仙台神楽「種蒔の舞」 齊藤 修二

道文化財保護功労賞 普及啓発に貢献 三団体表彰

札幌建築鑑賞会／置戸町郷土史研究会／オコンシベの会(伊達市)

札幌の文化財をやさしく 事業部

余市道内文化財めぐり 「オリジナル解説」が好評

小樽の地名 竹田 輝雄

シリーズ 伝える 稚内赤れんが通信所の保存活動 熊田 要二

まちのイチオシ 神威岬の今昔

文化財NOW(4) 無形文化財等の保護の充実に向けて

阿部 剛

博物館ひろば 美幌博物館 “展示に手作り感” 支える協力員

鬼丸 和幸

触れあいの中の楽しみ 「化石」とは、なんぞや?

木村 方一

青 森 県

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇151 2021.10 B5 109p

広須新田の歴史の変遷(下)

佐藤 文孝

松平定信の海防計画について

塚越 俊志

菓子はどのように審査されたのか

—内国勸業博覧会の審査資料から見えてくるもの

中園 美穂

「『青森開港の恩人』森山弥七郎」の人物像を考え直す

工藤 大輔

資料紹介 弘前市西茂森普門院本堂の墨書について

関根達人／福井敏隆／小石川透／高橋奈里／田村眞子

書評と紹介

虎尾達哉著『律令政治と官人社会』

十川 陽一

浪川健治著『北の被差別部落の人々—「乞食」と「革師」』

中野渡一耕

八戸の歴史叢書『八戸藩遠山家日記』第九卷

萱場 真仁

深浦のあゆみ編集委員会編集・深浦町発行『深浦町・岩崎村合併—

五周年記念誌 深浦のあゆみ』

河西 英通

秋 田 県

◆秋田民俗 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322

年4000円 1973年創刊

◇47 2021.9 A5 42p 1364円

も鹿のナマハゲ行事を論ずる上で心得るべき課題

—「分かっている」つもりが「分かっていない」ことの方が多い

鎌田 幸男

番楽研究の視座—『鳥海山北麓の獅子舞番楽』を読んで

小田島清朗

「北越雪譜」中「越後縮」を読む

石郷岡千鶴子

書誌紹介 小田島清朗著『秋田音頭考 西馬音内盆踊り考』

阿部 克人

山形県

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 1987年創刊

◇35 2021.11 B5 50p 700円

途絶えた二つの人形芝居記録ノート

一鮭川村「曲川人形」と山形市「山田木偶人形」	菊地 和博
小国町の神秘的なアイヌ語地名を探る	清野 春樹
南東北の「徳一上人」に関わる寺院	渡邊 敏和
寛政の月山山頂	渡辺 幸任
「最上川の文化的景観」の保全について	岩鼻 通明
書評 杉原丈夫著『北前航路と寄港地 北前船と酒田』を読んで	小野寺雅昭
- 県内の主な民俗関係出版物(2020年9月～2021年8月)

◆米沢史学 米沢史学会

〒992-0025米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内
TEL0238-22-7330

◇37 2021.10 A4 196p

女性の旅日記にみる女人禁制—「多比能実知久佐」を中心として	岩鼻 通明
平泉藤原氏の猫	山口 博之
女院の家政に関する一考察	
一八条院領感多荘所職補任問題を糸口として	山田彩起子
戦後直後における洋裁学校と文化運動との関わりについての試論	
一山形県米沢市ならびに山形市、福島市の事例を中心に	布施 賢治
中近世移行期畿内近国村落における売券の書札体化について	
一近江国・和泉国の事例を中心に	藪部 寿樹
- 史料紹介
笹野観音堂史料に関する研究(2)	笹野観音堂史料研究会
『看聞日記』現代語訳(22)	藪部 寿樹

福島県

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方
2015年創刊

◇46 2021.12 A4 2p

富国麦酒の日本地ビール協会主催「ジャパン・グレートビア・アワーズ
2021」銀賞受賞によせて 大谷辰夫／山田英明
フークトープ紀行(46) 鼻毛の隧道(福島市) 及川 友江

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8018福島市松木町13-16 TEL024-534-9193 2002年創刊

<https://www.history.fcp.or.jp>

◇61 2021.10 A4 4p

私年号「宝久」使用例の発見 宝久(寶久)元年卯11月15日付「指出し
申證文之事」(二文字屋文書376) 小野孝太郎
書き換えられたいわき地方の名産品 山田 英明
会津郡田子倉村皆川家と「農諭」 小野孝太郎
官修墳墓に葬られた泉藩士松井兵馬 渡邊 智裕
明治開拓村 安積郡桑野村の盛衰 山田 英明
日橋川水系の水力発電事業と渋沢栄一 渡邊 智裕

◆ふくしまの歴史と文化財 文字摺通信

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇4 2021.11 A4 4p

歴史的地名が…「信夫毛知摺観世音」の石碑
福島の神仏分離(1) 大原神社の場合

◇5 2021.12 A4 4p

緊急のお知らせ! 岩谷観音千手観音像のお顔が剥落
札所巡り(1) 信達三十三観音第8番札所 清水観音

◇6 2021.12 A4 4p

「NPO民俗芸能を継承するふくしまの会」の活動(1) 懸田先生が収
集した民俗芸能に関する資料整理事業が始まりました。そこは宝の
山です。

大円寺の可愛いお地蔵さん、「信達二十四地蔵」の十八番地蔵でしよ
うか?

街を歩いていると??に当たる 今回は何に……西町陸橋の怪?????

栃 木 県

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊

◇121 2021.10 A4 4p

《特集 凝灰石利用の歴史》

とちぎ凝灰岩学のすすめ

山口 耕一

古墳時代下毛野の凝灰岩利用

内山 敏行

日本遺産となった「大谷石文化」のストーリー

清地 良太

新刊紹介

竹末広美著『下野の水路 鬼怒川水系をゆく』

飯塚 真史

齋藤弘編『「地誌編輯材料取調書」から読み解く 栃木市皆川地区
の歴史』

石川 達也

群馬県

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇168 2021.12 B5 4p

養蚕書の広まり

伊藤 克枝

循吏としての星野長太郎

井野 修二

第118回例会記事 井野修二氏「世良田銀行の創設」(井野)、鈴木英
恵氏「お守りが持つ役割と機能」(鈴木)

埼玉県

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サポートセン
ター メールボックスB13 年3000円 1975年創刊

<https://saitama-chihoshil952.blogspot.com>

◇83 2021.11 A5 74p

特集 北武蔵地域における旗本研究の射程

特集にあたって

地方文書のなかの旗本史料—旗本小堀家と金子家・巻島家

三野 行徳

幕末期の旗本知行所支配における家臣書簡

—旗本牧野家の「在役」宛書簡の検討 野本 禎司

旗本菩提所の成立と護持—旗本水野家菩提所昌国寺を事例に

中村 陽平

旗本家の由緒と家職ゆかりの知行地

—忍鴻巣御鷹場支配天野家を事例に

澤村 怜薫

旗本筒井政憲と甲山村の豪農根岸家一プチャーチン来航への対応 重田 健一
 近世後期における旗本相給村の運営—武蔵国幡羅郡下奈良村の場合 栗原 健一
 書評 野本禎司著『近世旗本領主支配と家臣団』 宮原 一郎
 特集関連文献・史料紹介(1) 関東近世史研究会『関東近世史研究』第
 89号／(2) 埼玉県立歴史と民俗の博物館編刊 特別展図録『武蔵国
 の旗本』／(3) 埼玉県立文書館収蔵の旗本関係文書群

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇233 (通540) 2021.11 A4 8p

古文書日曜部会 10月の活動報告 布佐・木下に至る水上輸送路につ

いて一利根川中・下流域の河岸機能を見る

山崎 章藏

井上家文書研究部会 10月の活動報告

No.965 (表紙欠、御用留 天明5(1785)巳年～寛政元酉年)

岡本 和男

古文書解読火曜部会 10月の活動報告

「御鹿狩三ノ手人足寄場足揃場所附帳 根戸村 卯正月」

中臺 卓夫

合同部会 10月の活動報告

山本 包介

新刊紹介 「下総原氏・高城氏の歴史〈下〉第2部 高城氏」

千野原靖方著、たけしま出版

◇234 (通541) 2021.12 A4 20p

歴史部会 10月の活動報告 あかりの歴史

報告者・岡村純好

古代史研究グループ 12月の活動報告 将門の乱と王城の地

報告者・星野征朗

古文書日曜部会 11月の活動報告

差上申一札之事(安永8亥年6月14日) 布佐石井家文書

田中 康弘

井上家文書研究部会 11月の活動報告 柏市郷土資料展示室2021年企

画展「絵図が語る手賀沼」展示資料一覧表と手賀沼開発史年表(岡

本会員提供)

金成 典知

古文書解読火曜部会 11月の活動報告

元禄五申年「中峠村田畑社地不残大概書」

茂木 勝己

色川大吉先生と我孫子

関口 一郎

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会

〒276-0046八千代市大和田新田452-20 鈴木康彦方 TEL047-459-2506

年3000円 1976年創刊

◇46 2021.11 B5 151p

《特集 旧村神野の総合研究 そのⅡ》

発刊にあたって

田中 巖

追悼文

村田一男先生を偲んで

加賀谷 孝

故村田一男顧問を悼む

牧野 光男

村田一男先生を偲んで

蕨 由美

菅野貞男さんのご逝去を悼む

畠山 隆

特集 旧村神野の総合研究 そのⅡ

神野の古代 神野芝山古墳群と石枕

田中 巖

神野の古代 八千代市神野から出土した常総型石枕

三橋 俊一

神野の近世 慶長7年の神野村の検地

青田 博之

神野の近世 安政5年の年貢割付帳にみる神野村

斎藤 惇

神野の近現代 安藤佐五右衛門家の屋敷についての考察

菅原 賢男

神野の近現代 印旛沼の恵み

小林 詔三

神野の近現代 神野の消滅した行事—残されたノートから

畠山 隆

玉位山玉蔵院の本尊

山口 忠

八千代市神野の2020発見板碑群の調査の詳細

蕨 由美

『八千代市の歴史 資料編』未掲載の市内板碑データ—下高野・上高野などの板碑について

蕨 由美

高本の万治3年銘庚申塔についての修正と補遺

蕨 由美

沖塚遺跡以降の古代製鉄

田中 巖

戦後の印旛疏水路工事

青田 博之

米本浅間講(割菱講)その2 例大祭と存続について

鈴木 康彦

東京2020オリンピックと感染症の歴史

鈴木 康彦

トピックス

東京2020パラリンピック聖火採火式に参加

小林 詔三

ドローンによる「天空から見た神野」

鈴木 康彦

下高野天明3年百姓一揆の説明板

田中 巖

歴史を楽しむ活動「歴史散策報告」

新川から花見川へ「掘割普請の歴史」を訪ねて

山口 忠

令和3年度活動記録と活動予定

事務局

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部日本史学研究室

1985年創刊

◇43 2021.3 B5 8p

2019年度 第2回房総史料調査会例会報告要旨

金原明善研究の現在と今後の課題

伴野 文亮

討論要旨

文責・金炯辰

江戸川区郷土資料室調査参加記

第四次江戸川区郷土資料室所蔵旧上小岩村石井家文書調査

下松 由季

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021松戸市小金原7-10-20 松田孝史方 TEL047-342-1764

年5000円 1961年創刊 <http://www.matsudoshidankai.net>

◇61 2021.11 B5 64p

会誌「松戸史談」について

松田 孝史

オリンピックがやってくるー松戸競馬場顛末記

古木 均

自由民権運動家 大川吉右衛門

(その2 大川五兵衛文書・信濃実業新聞から)

川畑 光明

豊臣秀吉奥羽仕置

花輪 茂道

江戸時代の寺子屋教育と松戸

松田 孝史

工兵学校の正門と哨舎 史跡指定と高橋繁さん

田嶋 昌治

禅の教え=児童文学を手掛かりに 第二話『平家物語』

石川 光学

『千葉都民のまちを歩くと』

荒木 知

幻の水稲米・三次郎糯米

大井 喜市

ことばと文学

植田由紀子

短信(1) 広徳寺で板碑の破片を発見!

田嶋 昌治

定期総会と記念講演会・要旨

松戸駅周辺の今昔と和菓子屋のあゆみ

田中 忠行

『松戸の遺跡』ー最近の発掘調査から 講師: 峰村篤氏

松戸史談会会員勉強会・要旨 私が発信した新聞記事 担当: 佐藤敬

一郎氏/吾妻婦人音楽連中の災厄 担当: 古木均

短信(2) 「小金牧五香六実野馬除土手」が松戸市の史跡に指定される

松田 孝史

東京都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒190-0022立川市錦町3-1-28-301 TEL042-540-1663 年6000円

2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇23 2021.11 A4 8p

市民アーカイブ多摩開館7周年記念講演会報告 コロナ禍の社会をど

う読むか—女性たちの現在 お話：竹信三恵子さん

記録・杉山弘

市民アーカイブ多摩の四季(9) 秋 イロハモミジ

邑田 仁

ミニコミ紹介

『アゴラ』アゴラさがみはら編集委員会 1997年創刊

山田 広美

『府中萬歩記』『府中萬歩記』編集委員会 2013年創刊

村上らっぱ

市民アーカイブ多摩の資料棚から(15) 多摩の水辺

堀内 寛雄

第7期緑蔭トーク報告 第2回 国立国会図書館調査及び立法考査局

一蔵書をもとにした調査と分析 等雄一郎さん

記録・江頭晃子

岸中書庫報告(2)

建物修繕(4~5月)、書架組み立て(6~7月)、資料移送(9月~)

報告・江頭

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818

年5000円 1939年創刊 <http://www8.ocn.ne.jp/~sanmin/>

◇322 2021.10 B5 20p

表紙解説 信州南木曾「木地師の里」由緒書絵図

編集室・岡

“悪霊退散”を祈る—二〇二一年十月 列島の片隅から

「あしなか」編集室編

“アマビエの図”私考—弘化三年「肥後国海中の怪」の謎

関 啓司

東京・調布市 深大寺降魔札の鬼—元三大師御守護御影

小海 敏雄

県境にらむ「鹿島様」—秋田の道祖神(朝日新聞(夕) 20.6.16)

白山神社本社 疫病沈静祈願—伊豆山山中・岩蔵谷(伊豆新聞 20.4.18)

小室神社「愛宕大権現」コロナ終息祈願

—川奈・小室山山頂(伊豆新聞 20.6.6)

奈良「晴れ祈願の寺」てるてる坊主大集合!—五條市・生蓮寺

(朝日新聞(夕) 21.7.13)

ハンセン病患者心明行者によって開かれた木曾駒ヶ岳上松登山道

—長野県上松町より・その2

楯 英雄

山里だより(34) 獅子踊りと云うは鹿の舞なり—遠野にて

杉崎満寿雄

旅の草ぐさ(32) 音無ノ社の湯尾権現祭—伊東市竹の内

邑科 久乃

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇131 (47-6 通214) 2021.11 A5 132p 1000円

特集 若手研究者が取り組む部落問題・差別問題

特集にあたって 若手研究者&若手メンバーの意見交換のプラットフォーム

・ホームづくりと世代を超えた議論の深化を！ 編集部

シンポジウム 若手研究者が取り組む部落問題・差別問題 司会・大西祥恵

司会 大西祥恵／報告者 岡田伊代・佐藤雄哉・向山夏奈・真

辺駿／若手チーム 井上未菜・岡田伊代・長田香澄・川口弘

志・川松あかり・今野大輔・齋藤希帆・佐藤雄哉・白石杏・辻

本侑生・花堂祐紀・真辺駿・向山夏奈／コメンテーター 井桁

碧・吉田勉／アドバイザー 池田賢市・内田龍史・大西祥恵／

事務局 鳥山洋・井桁碧／オブザーバー 竹中龍太・村田浩司

オープニング

若手研究者の報告

報告1 解放子ども会の「学習塾化」と「解放の学力」 佐藤 雄哉

報告2 民俗学的視点から考える多面的な日常

一墨田区皮鞣し業従業者を事例に 岡田 伊代

報告3 福祉をすべての人の問題として、メディアができること

一津久井やまゆり園事件を例に 向山 夏奈

報告4 神奈川県の融和運動と小学校教師

一長島重三郎に焦点をあてて 真辺 駿

質疑応答

フリー討論&まとめ コメンテーターから発言 井桁碧さん・吉田

勉さん／報告者からのコメント／フリー討論／アドバイザーから

のコメント／まとめ 四人の報告者の最後のコメント／クロージ

ング

ヒューマンライツ再入門(2)

ヘイト・クライムとは何か—国際社会における差別犯罪対策 前田 朗

古文書を楽しむ(11) 父助命のため町奉行への駆け込み訴え 古文書を読む会

書評 浪川健治著『北の被差別の人々—「乞食」と「革師」』 鳥山 洋

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇644 2021.10 A4 4p

絵師・平柳文暉の絵馬・源義家図一舎人氷川神社 郷土博物館

足立の絵馬と博物館の調査 萩原ちとせ

あだち民具図典(10) 筧 問所 瑛史

- はい、文化財係です。(32) 足立区の埋蔵文化財の保護 柳沼由可子
 ◇645 2021.11 A4 4p
 あだち民具図典(11) 実用新案登された栓抜き 荻原ちとせ
 「大上々国」足立、豊かさの要因は？—江戸時代の年貢率から 多田 文夫
 はい、文化財係です。(33) 本田家文書と忍び 佐藤 貴浩
 ここで見られる足立の文化財
 足立区登録有形文化財 八代目市川団十郎奉納木造提灯灯扁額

◆足立史談会だより

- 〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇403 2021.10 A4 8p
 民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (15)
 編・堀川和夫
 河合の白酒とは 相川謹之介
 抄説・寺子屋の実態(4) 抄説・寺子屋の実態その二 安藤 義雄
 ◇404 2021.11 A4 8p
 民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (16)
 編・堀川和夫
 区民研究発表会を終えて
 竹内秀夫氏、岡野進氏、土田秀夫氏、唐沢邦子氏、吉岡諭氏 (堀)
 抄説・寺子屋の実態(5)／抄説・寺子屋の実態(6)／抄説・寺子屋の実
 態(7)／抄説・寺子屋の実態(8)／抄説・寺子屋の実態(9)完 安藤 義雄
 安藤先生の足立史談大学講義資料からの抜粋
 「高等学校を行った私塾の師匠たち」 編・堀川和夫

◆板橋史談 板橋史談会

- 〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 FAX03-5922-6460
 1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>
 ◇310 2021.11 B5 36p
 表紙写真解説 「板橋エイサー道じゅね〜」 遊座大山商店街(板橋区
 大山東町)・中板橋南口商店街(板橋区弥生町) 写真と文・井上富夫
 橋をめぐる民俗(3) 橋姫伝説 松崎 憲三
 武蔵国豊島郡蓮沼村金剛院の廃寺とその歴史的背景(四・終) 井上 富夫
 城への誘い(1) 三原寿太郎
 区政つれづれの記(6) 経済・会計編(1) 松浦 勉
 追悼

小林保男先生を悼んで	大澤 鷹邇
前会長・小林保男先生を悼む	井上 富夫
小林前会長と石塚顧問の逝去を悼んで	松浦 勉
ひろば	
刻をきざむ一戦時下の追憶	渡部 環
太平洋戦争はやがて歴史となる	若林 清

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇442 2021.11 B5 29p

奥武蔵における地名雑感	小泉 重光
奥武蔵・秩父に潜伏キリシタンはいたのか	村木 悦子
兒玉三十三霊場巡りを終えて(1)	西東 昭夫
想いでの中藤本さん(続3) 手作りの私家版『山と人と』	町田 尚夫
山行報告	
和名倉山入口行	矢口 益男
両神山	河野 尚久
越生街道から飯盛峠	小泉 重光
東吾野の山々逍遙	吉田美知子
イモリ山～小床峠	河野 尚久
会山行3500回記念集会～顔振峠集中山行	加藤恒彦／村木悦子／小泉重光
大明神山～ダリア園	吉田美知子
高山不動から顔振峠トレイル	大川 満代

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊

◇141 2021.11 B5 8p

東京に生きた縄文人展を見る	馬場 永子
第452回 月例研究会 史料再考：豊島氏、最後の流れ	伊藤 一美

◆現在学研究 現代学研究会

〒146-0091大田区鵜の木2-33-81 2018年創刊

◇8 2021.9 A5 60p

区切りのない時間のなかで コロナ禍からみえる地域事情	中野 紀和
大学における学生サークルの伝統の継承と断絶	倉石 美都
お稽古事の変遷と現在	高久 舞

“とき”を示すもの「七十二候」を読む 倉石 忠彦
 生活リズムから年中行事を捉える
 「生活暦の方法『年中行事』研究を考える」を読んで 伊吹あすか
 書評 宮本尚子著 博物館ブックレット2『人の一生 安曇野に生きる』 刀根 卓代

◆交通史研究 交通史学会（発売：吉川弘文館）

〒161-8539新宿区中落合4-31-1 目白大学社会学部地域社会学科
 鈴木章生研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>

◇99 2021.10 A5 109p 2500円

交通史学会第47回大会報告 高橋 陽一
 大会講演録

近世交通史研究の来し方行く方—幕藩体制という呪縛からの解放 山本 光正
 郵便創業150年 駅遞寮と交通史 井上 卓朗

大会報告要旨(自由論題)

貞享元年における伝馬役負担の変化—東海道見付宿を事例として 佐藤 真木
 二〇世紀の中国における電信事業の展開と地方隆盛

—雲南省を中心に

白鳥 翔子
 総会報告 常任委員会

近代高尾山における観光地化と交通メディア

—「霊山」から「観光地」へ

小貫 浩
 書評 倉地克直著『江戸時代の瀬戸内海交通』 鴨頭 俊宏

交通史学会2021年度第1回例会報告 高橋 陽一

旅と藩—米沢藩の交通制度と経済政策 原 淳一郎

弘前藩江戸日記にみる領民の藩領外での行動と藩の関与 中野 達哉

知識人のみた水戸藩—他領民の藩認識 高橋 陽一

第1回例会コメント 浅川 泰宏

常任委員会報告 常任委員会(文責・原淳一郎)

運営委員会報告 運営委員会(文責・原淳一郎)

展覧会情報 川崎市市民ミュージアム企画展「鉄道操車場物語—新鶴

見から塩浜へ—」について 鈴木勇一郎

◆国史学 国史学会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 国學院大學史学科気付 T電03-5466-0246

年4000円 <http://www.www2.kokugakuin.ac.jp/~kokushi/>

◇233 2021.11 A5 110p

近世後期における碑文谷八幡宮のオビシャについて	中島 文晴
元禄期のタバコ流通に見る松本城下町間屋と農村	野池 優太
書評と紹介	
佐藤長門編『古代東アジアの仏教交流』	皆川 雅樹
金子修一先生古稀記念論文集編集委員会編『金子修一先生古稀記念 論文集 東アジアにおける皇帝権力と国際秩序』	張 雯雯
例会報告要旨	
例会「近世史」	
近世後期忍藩にみる江戸留守居役の動向	宮澤 歩美
幕末福岡藩における武備充実策と藩主・嗣子	井上 翼
1月例会	
「弘仁格」からみた平安時代初期の帳内・資人	高橋 人夢
平安後期における蝦夷政策の特質—移配蝦夷を中心として	安東 峻

◆西行学 西行学会（発売：笠間書院）

〒102-8336千代田区三番町6-16 二松学舎大学文学部国文学科

五月女肇志研究室内

◇12 2021.10 A5 284p 4200円

タリン大会「歌の力」記録

開催の経緯と総括 近本 謙介

基調講演 西行和歌の花 西澤 美仁

シンポジウム パネル1 絵画と文学

近世大衆文化の西行(概要) ジョシュア・モストウ/訳・今井和彦

聖西行の駆使する歌の力—詩歌をモノに書き付けること 阿部 泰郎

「仏には桜の花をたてまつれ」歌をめぐる西行と鳥羽院—サント

リー美術館蔵白描「西行物語絵巻」の画中歌を端緒として 近本 謙介

シンポジウム パネル2 吉野山

西行の和歌にみる放浪の行(概要) アラリ・アリク

『西行物語』の連歌意識—吉野の桜をめぐる 橋本 美香

西行「吉野の奥」再考—歌語としての成立をめぐる 山口 眞琴

シンポジウム パネル3 言葉・表現・魔術

歓喜はこちらへ(概要)—西行と法楽和歌 エドワード・ケーメンズ

魔術師としての西行(概要) ジャック・ストーンマン

西行歌における月と閏一月に引きつけられる心の行方 山本 章博

西行の朗詠集撰取と仁和寺歌壇 小山 順子

シンポジウム パネル4 『西行物語』と旅

- 「つながぬ舟」の西行・蓮禪(概要)
 一瀬戸内海を旅する二人の詩僧 イフォ・スミッツ
 『西行物語コーパス』から見る語彙の量的構造 富士池優美
 近世における「西行物語」の継承と展開
 一二種の『西行法師一代記』 蔡 佩青
 伝西行筆「未詳歌集切」の再検討—歌群の詠者は誰か 池田 和臣
 那須黒羽の西行桜伝承—史料「御堂地山見養院の糸桜」を中心に 大沼 美雄
 広井鉄幹筆「文字絵富士見西行」について 中西 満義
 続西行歌碑を増補する(1)
 一千波公園西の谷・津乃宮公園・勿来九面・鮫川溪谷竜神峡 山本 章博
 西行学の名著 風巻景次郎『西行』 宇津木言行
 西行文献目録
 川田順・西行関係文献目録西行学会・編
 西行関係文献目録(総合版)2000-2008年補遺
 一付録・1989-1999年補遺の追補西行学会・編
 西行関係文献目録(地方文献版) 奈良県(1) 西澤美仁・編

◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館

〒140-0014品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060 1986年創刊

◇36 2021.9 B5 99+10p

- 品川 水辺の神仏の情景 柘植 信行
 万松山東海寺旧境内所在 伊豆安山岩製切石の調査報告 富川 武史
 史料紹介 六行会旧蔵文書「南品川六ヶ町地域図(品川宿図)」 鈴木三美子
 品川歴史館 令和2年度事業報告

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
 年6000円 1993年創刊

◇115 2021.10 A4 6p

- 聖寿寺館跡で真鍮生産(「東奥日報」21.7.15)
 最近の城郭ニュースから1 葦山城攻めの陣城調査/久留米城の発掘
 調査/犬山城大手門横の空堀調査
 最近の城郭ニュースから2 徳島城の郭・出入口発見/堀川から名古
 屋城の石材/小諸城で堀跡発見/近世城郭天守群 世界遺産へ具体
 策検討
 最近の城郭ニュースから3 陣ノ内城、小西行長が築造か/初の発掘

調査 国史跡九戸城石沢館／郡山城の測量調査報告／魚津城で試掘調査

目安箱(再録) 取出・砦(平成18年第54号『城郭だより』西ヶ谷恭弘執筆を転載)

各地の城郭研究会の活動から 和歌山城郭調査研究会、日本古城友の会、戦国と城を学ぶ会、東海古城研究会

最近の注目される城郭図書から 飯村均・室野秀文編『続・東北の名城を歩く』、香川元太郎著『戦国の城』

◆杉並郷土史会会報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇290 2021.11 A4 12p 400円

武蔵野・土地の利用と変遷—新田開発とウォーキングコースの設計 伊東 勝
唐干田・大唐田などの周辺(2) 菅野 郁雄
活動報告 史跡探訪ウォーク「上水に挟まれた地・高井戸を歩く」 沖本一暁・記

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2021-11 2021.11 A4 10p

会員の広場 私も語り部 町の昔話 深沢たんぽに食用蛙 秋山 元治
世田谷の民話(13) 流れ着いた神様が野毛村を洪水から守る／現在の
民話のふるさと 野毛六所神社(世田谷区野毛二丁目) 作者・桜井正信
世田谷の民話(14) 船橋村の大榎が万灯で村祝い／現在の民話のふる
さと 船橋の由来 神明神社(世田谷区船橋四丁目) 作者・桜井正信

記憶・東京大空襲 内山昌玄 昭和7年(1932)生まれ

東京大空襲・戦災資料センターより 東京大空襲とその被害

◇2021-12 2021.12 A4 8p

講演会 寺田良喜講師「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群」

2021年(令和3年総括)

世田谷区誌研究会でユーザー

あなたの町をもっとよく知りたいと思いませんか

世田谷の民話(15) 白い大蛇が六郎次山を守る／

現在の民話のふるさと 羽根木公園

作者・桜井正信

世田谷の民話(16) 和尚さんの猫が殿を招く／

現在の民話のふるさと 弘徳庵 作者・桜井正信
「野球は巨人・キャラメルは紅梅」の思い出 大塚勝利(昭和18年生ま
れ 瀬田・玉川在住 大勝庵 玉電郷土の博物館館長)

◆戦国史研究 戦国史研究会(発売:吉川弘文館)

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇82 2021.8 A5 48p 682円

戦国期丹後一色氏の基礎的研究	清水 敏之
玉甫紹によるガラシャ七回忌一戒名「秀林院殿」をめぐって	日向 志保
「常陸国市川家文書」所収の夫掾氏文書	中根 正人
原本の印形が写で変わる一二つの北条氏邦朱印状から	伊藤 拓也
本福寺所蔵「近衛前久書状」について	磯川いづみ
三池親基の動向と龍造寺氏	堺 有宏

戦国史関係論文目録(令和2年7月~12月)

例会報告要旨

第484回例会

戦国期今川氏発給文書の基礎的考察一兵親~義元段階の特徴	大石 泰史
-----------------------------	-------

第485回例会 里見義頼の「外交」と天正の内乱	細田 大樹
-------------------------	-------

第486回例会 初期徳川政権の対朝廷政策 一家康による座次相論裁定をめぐって	神田 裕理
---	-------

総会報告 書面決議

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒185-0024東京都国分寺市泉町2-2-21 東京都公文書館 TEL042-313-8460

<http://www.jsai.jp>

◇110 2021.9 B5 12p

第24期会長就任にあたって	大平 裕己
---------------	-------

第1回役員会レポート 第24期新体制が発足!

一役員会はオンライン方式で	関根 豊
---------------	------

令和3(2021)年度 全史料協総会	文責・西木浩一
--------------------	---------

東京都公文書館の新たなステージに向けて一施設見学にかえて	西木 浩一
------------------------------	-------

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会の機関会員における新型コロナ

ウイルスへの対応・対策についてのアンケート集計及び報告

令和3年度の各委員会一事業計画と抱負

大会・研修委員会	事務局・吉田真矢
----------	----------

調査・研究委員会	事務局・田貝 隆
----------	----------

「全国(高知)大会へのお誘い」(大会・研修委員会)

◆千住の鷗外保存会会報

◇33 2021.11 A4 4p

冬季区民教養講座 一千住の鷗外文学碑再設置記念の集い—明治を拓いた文豪森鷗外と千住 山崎一穎先生

千住の鷗外文学碑／鷗外碑移設場所図

文学碑建立時に設置した鷗外に関する解説文、今は無い／足立区竹ノ塚で開業医の高田渙先生が鷗外の「千住の鷗外の家」とドイツ語文を翻訳され紹介をした真筆文。

文学碑完成に伴い足立区に寄贈の目録／千駄木の森鷗外記念館(文京区千駄木1)で開催中のコレクション展「舞姫—恋する近代小説」で現在、森鷗外の「舞姫」「文づかひ」の自筆原稿が特別公開されている。

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogei.info>

◇359 2021.10 A4 2p 100円

木場の木遣念仏／木遣念仏 歌詞

◇360 2021.11 A4 2p 100円

『放屁論』鳳来山人(平賀源内)

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇151 2021.11 A4 6p

疎開地・富山に残ったアート遺産

—月光荘のピアノと、棟方志功の「ビニロン板画」 文・写真 奥原一三
高輪築堤跡と保存—その検討経緯と今後の展望について 小笠原永隆
報告 講演会「たたら製鉄と和鉄の美しい模様」

文・多田統一／写真・永田講師提供
茨城県常陸太田市の赤煉瓦建築物(5) 旧町屋変電所(2) 文・写真 八木司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091 1956年創刊

◇382 2021.10 A4 2p

昭和史雑感 昭和天皇と将軍達(33) 東条英機(6) 鎌田 茂男

高札場 7月例会 講演「豊島信満と江戸城刃傷事件」伊藤一美氏、

9月例会 江古田・小竹向原周辺の史跡巡り 葛城明彦氏案内
熊野御師と豊島郡域の住郷の者たち(2)

2「武蔵国旦那書立写」の性格

伊藤 一美

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊

<http://www.hblri.org>

◇100 2021.10 A4 4p

報告 第1回定例研究会 ラムザイヤー論文の問題点を検証する／第
2回定例研究会 埼玉県の人権意識調査から見えてくること／第1
回歴史部会 大正知識人の指導者意識と部落解放思想—全国水平社
創立期における三浦参玄洞・佐野学／第3回定例研究会 部落の「属
性」の否定という共通点は何を意味するのか—ラムザイヤー・鳥取
ループ・法務省

◆明治維新史学会だより

〒261-0014千葉市美浜区若草1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室

2004年創刊 www.ishinshi.jp

◇29 2021.10 B5 11p

大会報告要旨

元治元年における在京老中の登場と実態—稲葉正邦を中心に

鈴木 乙都

不二道における復古神道受容の再検討

三ツ松 誠

明治初年における庄内藩家臣団と家禄

—「分知」と「御家禄」の検討から

林 幸太郎

明治一五年に開館した「博物館」に関する一考察

—列品の分類体系と「史伝部」という分類項目に注目して

高久 彩

小特集「明治維新史学会と出版」

明治維新史学会と歴史書編集者

永滝 稔

戎光洋出版株式会社の取り組み

石渡 洋平

例会報告要旨

在京老中の登場と実態—稲葉正邦を中心に

鈴木 乙都

神奈川県

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852
年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇267 2021.10 A4 32p

講演録 小田原の道祖神と道祖神祭り(上)	講師・保坂匠
明治小田原の記憶(2) 小西薬局二代当主・小西正寛	星野 和子
旧小田原城主・大森一族とその末裔たち	片桐 稔晴
鎌倉時代の小田原を巡る(2) 中村党の本貫地	野村 朋弘
「北条五代記」(6) 北條氏康と上杉憲政一戦の事／房州里見家の事／ 関八州に鉄炮はじまるの事	勝 四郎
片岡日記歩こう会(2) 秦野八沢・菖蒲行き	青木 良一
曾我物語を追っかける(3) 河津・赤沢・伊東篇	諸星 幸雄
『小田原史談』再録 「西相模の石造物」(道祖神を抜粋)	岡部 忠夫

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TEL045-364-4456 1994年創刊
<https://archives.pref.kanagawa.jp>

◇45 2021.11 A4 2p

第9回県立図書館・公文書合同Web展示「パンデミックを生き抜く
ために一神奈川県と感染症の歴史」担当・木本洋祐

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26
2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇89 2021.11 A4 2p

姉妹に聴く パラリンピアン村山(旧姓三枝)仁子	石崎 和子
シリーズ：私たちの「戦争体験」(13)	
第4話「銃後の少国民かく戦えり」 清田昌弘(故人)	(石)
鎌倉市長選挙	(高階)
第49回衆議院議員選挙結果から	(多和田)

◇90 2021.12 A4 2p

かく子の家で思い惑う(3)	前田 セツ
---------------	-------

シリーズ：私たちの「戦争体験」No.14 第1話「記憶を紡ぐ」 曾原 糸子
地域女性史研究会 第16回例会(神奈川) 報告 1「日本のバレエの
母といわれる亡命ロシア人 エリアナ・パヴロバ」横松佐智子、報
告 2「明治維新におけるキリスト教の受容と女性の社会事業」江
刺昭子、歴史散歩前日の報告を歩く山手散策 (横松)

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二 年1000円 1979年創刊

◇167 2021.11 B5 6p

史料紹介 武州御嶽山御師の配札(檀那場帳)より 西海 賢二

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内(事務局:西村健)

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇91 2021.11 B5 4p

研究例会 第119回例会 シンポジウム:「首都圏」形成と地域政治
「首都圏計画」の変遷と地域社会の動向」松本洋幸、「首都圏」
形成の一前提—1940年代の東京をめぐる地方計画—衛星都市論と多
摩地域」中村元、「首都圏整備法と群馬県前橋市の石井市政—革新
から保守へ—」手島仁、「首都圏整備計画と金刺市政—「大川崎」
から「住みよい街川崎」へ—」北川恵海、「国土計画・首都圏計画」
と市民運動—千葉県市川市・鎌ヶ谷市を事例として—」手塚雄太、「首
都圏」変容の同時代史—第4次～第5次首都圏基本計画と東京—極集
中をめぐる対抗を中心に—」源川真希、討論 司会・大西比呂志、
誌上参加 伊藤陽平・車田忠継・奥津憲聖・沖川伸夫・中村一成・
大西比呂志/次回の研究例会

情報ネットワーク 展示会情報!

シンポジウム:「首都圏」形成と地域政治 趣旨

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館4階

TEL044-812-1106 1993年創刊 <http://chimei.people.co.jp>

◇100 2021.11 B5 6p

表紙 あきる野市熊野神社の大ケヤキ 撮影・菊地恒雄

受賞とSDGs(持続可能な開発目標)としての地名

—谷川地名学を受け継ぎ、伝えるべきこと 金田 久璋

川崎市文化賞 受賞～地名、風土の価値を伝えて四〇年(推薦文より)

令和の時代へ込めて 「地名コラム連載六〇〇回に刻む基層」 原 董

三〇年ぶりの『川崎の町名』改訂にあたって 菊地 恒雄

日本の地名詩集—地名に織り込まれた風土・文化・歴史

金田久璋・鈴木比佐雄編

松浦武四郎の四国遍路をたどる

あれから二百年 コロナ時代のへんろ考現学 武内文治著

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

2003年創刊 <http://hikaenochou.world.cocan.jp/mysite1>

◇73 2021.9 A5 188p 500円

失われた日本人(8) 蓮月尼 茂木 光春

松田の武士 松田氏を知るには(2) 遠藤 孝徳

小田原・文学の小箱(3)—私のコレクションから

白秋の戯画—はく秋茶を煮る之図 杉山 博久

秦野市内の風の神様 堀池伊沙子

酒匂だより 「花の目玉焼き」 町田紀美子

日光領荒地起返離村旧復之仕法の始まり 尾上 武

続々・ボクの映画館(2) 『お日柄も良く、ご愁傷さま』 平倉 正

詩 転居 加藤 三朗

片岡秀太郎の死を悼む 田中 豊

市政80周年 小田原市の歴代市長見聞録 小泉 政治

血は水よりも濃し 石川 和彦

祖霊との邂逅〈捜私漂白〉 小濠 眞宝

諸々の思い出(3) 田中 豊

関東十八檀林記(16) 熊谷から川越蓮馨寺まで 青木 良一

小説—幕末銀板写真倶楽部 ポトゲラヒ(6) 荒河 純

一升石(3) 芳賀喜久雄

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇643 (54-7) 2021.10 A5 24p 350円

固定式刺し網漁の漁具誌—福島県新地町の操業現場から 川島 秀一

加古川の川舟三例—新部の渡し「太閤丸」を中心に 山本 原也

マンスリー掲示板

行田市郷土博物館 第34回企画展「足元から紐解く生活史」

◇644 (54-8) 2021.11 A5 24p 350円

コロナ禍におけるアマビエの流行—続・しづかアマビエの展開
楽器の演奏による野生動物の行動管理

市東 真一

—奈良公園における鹿寄せを事例に(下)

東城 義則

◆悠久 鶴岡八幡宮悠久事務局

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇163 2021.10 A5 126p 680円

《特集 近世地誌Ⅱ—近世地誌を読む》

エッセイ 音楽という名の祭り

角松 敏生

近世の地誌と寺社—『新編鎌倉志』と鎌倉寺社

原 淳一郎

『庄内地理志』にみる神話・伝承

山下 真一

藩撰地誌『阿波志』からみた城下町徳島

根津 寿夫

『因幡民談記』にみる近世前期の鳥取藩—お国替えと東照宮の造営

伊藤 康晴

『新編相模国風土記稿』に見る高座郡の神社と鐘

—統計データとして読む地誌

酒井 麻子

『江戸砂子』の影響—『江戸名所図会』への引用を手がかりに

齊藤 智美

口絵解説 『新編相模国風土記稿』に描かれた寺社

八幡宮紹介 庄内神社 (大阪府豊中市庄内幸町)

新刊紹介 『「天皇」永続の研究』近現代における国体観と皇室論 東

郷茂彦編／『東アジアの「伝統の森」—〇〇選展』—山・川・里・海

をつなぐ森の文化 藺田稔監修・李春子編著

新潟県

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇422 2021.11 A5 58p

「山の神信仰」の原点と習合

石田 哲彌

植物と民俗—カクマという地名と植物 平地と山地の交流

小澤 弘道

二〇二一年 春の談話会発表報告

雛祭りに押絵人形と錦絵を飾る習慣について

坂井 美香

栃尾手まりに見る特産物の変遷

星野 紀子

越後の神社合併・整理について―旧町村を中心にして 金田 文男
 令和三年度年会講演会要旨 「栃尾手まりに見る特産物の変遷」
 新潟石仏の会会長 星野紀子氏 宮島 秀一
 質問 茅よしについて 金田 文男
 有志見学会報告 新潟県立歴史博物館 秋季テーマ展示「四季のくらし、小さなまつり―新潟県の年中行事」／秋の談話会報告 高橋郁子さん「令和の若者の年中行事考」、山沢拓見さん「年中行事の禁止と存続：旧長岡藩領の盆踊りの実施状況から」

◆まきの木 巻郷土資料館友の会

〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1 TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇115 2021.10 B5 10p

松屋文書「地方凡例録」と地域文化

―西川沿線の文化度を見る一つの指標として 亀井 功
 多加良(たから)神社の由緒 江端 完治

長野県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇115 2021.12 A4 4p

ワークショップ「下伊那の宗教文化ネットワーク―松下千代と松尾多勢子を中心に」を開催します 報告1「松尾多勢子のネットワーク歌合わせ・勤王運動・周旋活動の場面」アン・ウォルソールさん、報告2「不二道の信者ネットワークと松下千代」宮崎ふみ子さん
 新刊紹介

聞き書き『飯田市の暮らし』8―昭和期 飯田・上飯田の社会史―
 2021年10月刊行 近現代ゼミナール編 飯田市歴史研究所発行 田中 雅孝
 飯田市歴史研究所年報19 2021年11月刊行 飯田市歴史研究所編
 リレーミニエッセイ(22) コロナ禍と地域史研究 伊東 毅

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1122 (69-11) 2021.11 A5 50p 550円

口絵 大河原の神像(大磧神社・松平神社) 北村 尚幸

水戸浪士天狗党の高森近辺通行

—伊那谷を震撼させた水戸浪士の伊那街道通行
明治四年発刊の“知恵の以とぐち”について

手塚 勝昭

明治三年刊、最初の教科書の姉妹編
『伊那尊王思想史』再検討—伝馬町と平田国学・不二道
天竜川流域の御社宮司神5(まとめ)

吉澤 健

竹村 雄次

今村 理則

『ひさかた風土舎』の実践活動

長谷部三弘

下伊那日録(2016)10月~11月

寺田 一雄

◇1123(69-12)2021.12 A5 50p 550円

口絵 破損仏の正体を探る2

織田 顕行

鼎町切石 専修庵の十王信仰

岡田 正彦

伊能忠敬 測量天文方の伊那谷通行

根羽・平谷村を経て浪合村に宿泊

千葉喜美子

地域を語り、唄い継いだ『吉岡唄』

原 董

戦中戦後の思い出 先生はこわかった

松澤 英男

伊那 第六九巻総目録〈2021.1〉より〈2021.12〉まで

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 TEL0265-73-5538 年6000円

◇777(65-10)2021.10 A5 40p 600円

やまびこ国体回想

小林 哲

天竜川右岸地域の水利と人々の暮らし

三石 稔

伊那路の山と笠原「牧」の地名考(下)

なかむら信行

片桐氏嫡流系図についての考察(5)

片桐 充昭

其残の画集『名旧真写』を復刻して

翁 悦治

図説・上伊那の民俗(52) 五十鈴神社獅子練り(駒ヶ根市上穂)

三石 稔

徒然さんぽ(27) イチョウ並木 中川村渡場

絵と文・吉田勝美

書籍紹介 『信州の夏休み 自然観察フィールドガイド』『校則、授業

を変える生徒たち 開かれた学校づくりの実践と研究』『感應山

深妙寺誌』

◇778(65-11)2021.11 A5 40p 600円

蒲田と木綿

中崎 隆生

伊那市通り町一丁目 正藤酒店物語(1)—最後の銅板張り看板建築

小平 和夫

陸軍登戸研究所本部の疎開先が宮田村の真慶寺であった

伊藤 一幸

放浪の石工 藤森吉弥の石仏を探し求めて—秩父編(1)

有賀 利武

文化短信 千畳敷でご来光を見る

吉田 保晴

追悼文 北村さんを偲んで 吉田 保晴
図説・上伊那の民俗(53) ゴミと鳥居(伊那市西箕輪) 三石 稔
徒然さんば(28) 曹洞宗雲居山 龍勝寺 伊那市高遠町勝間 絵と文・吉田勝美

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇861 (73-10) 2021.10 A5 84p 1150円

《特集 シンポジウム「公文書と地域資料の保全」》

開催趣旨(会長挨拶) 小松 芳郎

基調講演

長野県における公文書等の管理と課題 早川 和宏

講演資料 早川 和宏

報告

上田・東御・小県地域における公文書・地域資源保全の取組みにつ

いて 勝見 譲

「重要文書」とは何か―安曇野市の取組み 青木 弥保

地域資源としての公文書・地域資料を散逸させないために

―長野県立歴史館の史料収集と公開 村石 正行

公開討論

信濃史学会からの提案

◇862 (73-11) 2021.11 A5 92p 1150円

《近現代史特集》

近現代史特集

『長野県議会会議録』に見る一九三〇年代の県政 横山 憲長

幕末動乱期京都情報の村方指導者層への伝達をめぐって

―慶応四年正月横川口留番所番人の控帳を中心に 菊入三樹夫／上條泰子
金庫式奉安庫の誕生(1)

―明治から昭和戦前期の金庫製造に着目して 出河 裕典

史料紹介

永井市太郎『明治二十七年ヨリ明治二十八年至 征清従軍日誌』

―長野県芦田村 明治二十八年勲八等 陸軍歩兵永井 桂木 恵

松本城本丸使用に関する明治二八年の訴状 宮島義和／原田昌幸

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊

<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇319 2021.12 A5 105p 1200円

表紙・口絵解説 萬法寺の真田家ゆかりの聖徳太子像（長野市松代町当寺尾）／かるかや山西光寺（長野市）に建った徳住上人の名号塔

長野郷土史研究会

幻の城・長沼城跡の痕跡をさぐる—長沼地区防災拠点施設整備事業に

伴う埋蔵文化財予備調査概要報告	飯島 哲也
長野県の始まりを担った人々(2)	
信濃毎日新聞の初代編集長 村松秀茂	小林 一郎
全国各地への御柱の広まり—東北から九州まで	小林 玲子
長野市三輪の旧町名—三輪〇丁目〇番の旧町名は何だったか	小林竜太郎
木曾義昌と滝川一益について	志村 平治
安茂里村は帝国海軍最期の大根拠地にならんとしていたのでは	土屋 光男
読んで歩いた長野(6) 柳田國男の「信州随筆」(2)	栢木 希望
郷土史の視界(17) 県庁跡にできた長野県立美術館	小林 一郎
長野と全国各地の繋がり(16)	
かるかや山西光寺(長野市)に建った徳住上人の名号塔	小林 玲子
生きた町の歴史を知ろう(22)	
於菊稲荷(長野市間御所町)のきつね伝説	小林竜太郎

◆長野県民俗の会会報

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円 1978年創刊

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇44 2021.11 A5 278p

《発足50周年》

講演記録 祭礼と地域の民俗—都市祭礼における“見栄”への視点	市東 真一
より精緻な民俗地図をめざして	
—長野県史と皇国地誌との併用の可能性	安室 知
ハツウマと道祖神	倉石 忠彦
松本市梓川真光寺に集積された庚申掛軸について	細井雄次郎
ある集落の記録—オヤカタ・ヒカンの記憶	三石 稔
松本平の蚕神について	小原 稔
蚕神さまとは誰か—伊那谷を中心にした長野県の養蚕信仰	下平 武
養蚕信仰にみる猫絵とだるまの初絵	
—群馬県吾妻郡長野原町の初絵習俗	鈴木 英恵
松本市山辺のお船祭り—二輪のオフネの意味と位置づけ	太田(細野)真理

行逢裁面伝説と境界の策定	板橋 春夫
男鹿のナマハゲをめぐる一近代以降の変化と現状	松崎 憲三
特集 五〇周年によせて	
千葉県に住む私と長野県とのかわり	安藤 有希
五〇周年によせて	飯島 康夫
五〇周年によせて	伊藤 純郎
長野県民俗の会五〇周年によせて	白井ひろみ
長野県民俗の会五〇周年によせて	太田(細野)真理
祭り・芸能の継承をどうするか—南信州の取組み	小川 直之
会活動の思いで	小野 和英
五〇周年によせて	小原 稔
地域研究団体について思うこと	加藤 隆志
五〇周年によせて	木下 守
五〇周年によせて	窪田 雅之
長野県民俗の会五〇周年によせて	倉石あつ子
必要とされる研究会であらんことを一生き残った発起人から	倉石 忠彦
祖父勘内の素顔	胡桃沢勘司
次の五〇年のために—地方相互の連携と資料の継承	小池 淳一
宗教の多様性と民俗	越場 豊明
五〇年の時の流れの中で	笹本 正治
八年間を振り返って	市東 真一
最近の会活動	田澤 直人
五〇年の重みと期待	多田井幸視
民俗学を人生の友として	寺田 一雄
山形村史談会と道祖神の調査	直井 雅尚
長野県民俗の会創立五〇周年によせて—ある幽霊会員の述懐	中込 睦子
創立五〇周年、おめでとうございます	中原ゆかり
五〇周年によせて	日向 繁子
五〇周年によせて	福澤 昭司
共同墓地と引導場—第二二七回例会への参加を端緒として	巻山 圭一
漆塗りについての雑感—生活雑器・建築物内部での摺り漆を中心に	巻山 由子
民俗の会五〇周年によせて	三沢枝美子
「長野県民俗の会」草創期余話	三石 稔
思い出 倉石忠彦先生ありがとう	涌井 二夫
歴代代表委員一覧	

ISSN 0947-6580

長野県民俗の会会報

44

<p>巻頭語</p> <p>郷土と郷土意識 小澤 邦雄 208</p> <p>「長野県民俗の会」50周年を祝して 小澤 邦雄 210</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 212</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 214</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 216</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 218</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 220</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 222</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 224</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 226</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 228</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 230</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 232</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 234</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 236</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 238</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 240</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 242</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 244</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 246</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 248</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 250</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 252</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 254</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 256</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 258</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 260</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 262</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 264</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 266</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 268</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 270</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 272</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 274</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 276</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 278</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 280</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 282</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 284</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 286</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 288</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 290</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 292</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 294</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 296</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 298</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 300</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 302</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 304</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 306</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 308</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 310</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 312</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 314</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 316</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 318</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 320</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 322</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 324</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 326</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 328</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 330</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 332</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 334</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 336</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 338</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 340</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 342</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 344</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 346</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 348</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 350</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 352</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 354</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 356</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 358</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 360</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 362</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 364</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 366</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 368</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 370</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 372</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 374</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 376</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 378</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 380</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 382</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 384</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 386</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 388</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 390</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 392</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 394</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 396</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 398</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 400</p>	<p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 208</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 210</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 212</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 214</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 216</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 218</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 220</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 222</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 224</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 226</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 228</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 230</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 232</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 234</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 236</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 238</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 240</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 242</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 244</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 246</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 248</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 250</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 252</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 254</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 256</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 258</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 260</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 262</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 264</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 266</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 268</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 270</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 272</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 274</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 276</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 278</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 280</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 282</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 284</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 286</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 288</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 290</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 292</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 294</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 296</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 298</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 300</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 302</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 304</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 306</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 308</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 310</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 312</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 314</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 316</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 318</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 320</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 322</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 324</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 326</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 328</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 330</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 332</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 334</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 336</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 338</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 340</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 342</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 344</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 346</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 348</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 350</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 352</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 354</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 356</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 358</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 360</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 362</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 364</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 366</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 368</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 370</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 372</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 374</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 376</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 378</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 380</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 382</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 384</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 386</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 388</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 390</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 392</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 394</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 396</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 398</p> <p>「郷土意識」の再考 小澤 邦雄 400</p>
--	--

長野県民俗の会

* 「郷土長野県の生活と民俗とを見直し、全国的な視野から民俗学研究を進めること」を目的に、1971年2月に創立された長野県民俗の会が50周年を迎え、県内外の会員31名が会活動の思い出やこれからの在り方について提言を寄せている。

設立当初は複数名の当番委員、その後、事務局担当の代表によって運営されていたが、1983年年度から代表委員を置くようになった。代表委員を2回(都合6年)務めた三石稔氏の「『長野県民俗の会』草創期余話」によれば、設立時の会員は36名で、農業、自営業、郵便局員、会社員、医師、新聞記者、大学生もいたが、教員と県教育委員会・県史刊行会関係者が25名で中心を占めていた。『長野県史』編纂の活動に合わせて活動が活発化し、現在の会員数は130名余になっている。

会の創立と同時に創刊された『長野県民俗の会会報』は、2021年11月現在286号(隔月刊)を数えている。それに加えて1978年8月には論文、事例報告などを掲載する会報を創刊し、今日に至っている。

活動の成果は、『長野県史』編纂への参加のほか、同会編『信州に生きる：写真記録 上巻(生活編)』、『同 下巻(祭りと伝統行事編)』(共に郷土出版社、1993)、同会監修『定本信州の石仏 北信編(信州の石仏シリーズ：1)』(郷土出版社、2003)、また2015年2月には同会刊で、『長野県中・南部の石造物』と、関連して長野県全域のデータをまとめた『長野県道祖神碑一覧』(同年11月)などに結実している。

会活動の課題と提言では、コロナ禍で顕在化した民俗学の調査論や資料収集・整理方法等の検討と積み重ねてきた膨大な調査データの活用(加藤隆志「地域研究団体について思うこと」)、聞き書きや観察による資料のデジタル化ほか継承と共有のための試み(小池淳一「次の50年のために一地方相互の連携と資料の継承」)、長野県民俗学研究史の編纂(倉石忠彦「必要とされる研究会であらんことを一生き残った発起人から」)などがなされている。さらなる発展を期待したい。

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇286 2021.11 B5 12p

老いていくわたし 倉石あつ子
真光寺の庚申掛軸見学会に参加して 三沢枝美子
松本市梓川上野のお庚申様での例会によせて 越場 豊明
葉書でつぶやくコーナー 田中の墓地—安曇野に来て見て驚いた(4) 倉石 忠彦

静岡県

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部橋本誠一研究室

年4000円 1979年創刊 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇46 2021.10 A4 132p 1000円

総会記念講演録 再検討「日米安保から70年」 古関 彰一
駿河府中藩の地方役所と旗本陣屋の転用 樋口 雄彦
明治五年、元新撰組隊士加納道廣の召募に応じ、北海道に渡った足柄
県石工五拾人について 高橋 廣明
日露戦争以降の設立者・支援者の多様性と盲(啞)学校の設立 足立洋一郎
回顧と展望 静岡県近代史研究会と私の近現代史研究のまとめ 枝村 三郎
史料紹介 浜松に強制動員された朝鮮人学兵・孫萬鎬の手記 竹内 康人

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部森山優研究室

年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇518 2021.11 A4 8p

11月例会レジュメ 1枚の手紙から学ぶ太平洋戦争
—授業実践を通して生徒に伝えたいこと 村松 孝則

静岡県近代史研究会総会報告

旗本の静岡移住と没落—『幕末明治旗本困窮記』に寄せて 樋口 雄彦

◇519 2021.12 A4 4p

12月例会レジュメ
日露戦後以降の設立者・支援者の多様性と盲(啞)学校の設立 足立洋一郎
戦前の駿東の女学生—川端康成の少女小説 田中 慶子

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇239 2021.11 B5 2p

大御所家康、駿府城で陪臣をもてなす

廣田 浩治

例会報告要旨 7月例会 戦国大名今川氏の検地と知行制

鈴木 将典

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇181 2021.10 A4 6p

漆掻き技術 その1 静岡市内でたった一人の漆掻き職人

多々良典秀

シリーズ食(44) 「具足開きの塩汁粉」

川口 円子

静岡の民俗語彙・方言短信

デスクル

報告者・川口円子

ノミヂャ

報告者・川口円子

マルッテ

報告者・勝間田仁美

博物館情報／受贈図書・刊行物紹介

愛 知 県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇271 2021.9 A5 56p

「剣の宝庫 草薙館」竣功記念刀剣作刀鍛錬

「剣の宝庫 草薙館」の開館に向けて(4)

福井 款彦

熱田の椎木について

野村 辰美

創祀千九百年記念造営事業の回顧(28)

小久保雅広

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇70 2021.9 A4 4p

西尾市岩瀬文庫企画展「ものがたりの系譜」／特別展 『新編西尾市史

資料編3 近世1』刊行記念「江戸時代の西尾」

第16回にしお本まつり オンライン開催

蔵書紹介 子どもの絵本・赤本 表紙の写真 右『さるかに合戦』

(107-52) 1冊 西村重長画 江戸中期頃刊・複製／中『文福茶釜』
 (107-59) 1冊 近藤清春画 享保頃刊・複製／左『むかしむかしの桃太郎』(119-146) 1冊 享保頃刊・複製
 武者行列と火縄銃実演／一色学びの館企画展示「戦国・近世の西尾」

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円
 1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇616 (61-6) 2021.11 B5 8p 600円

表紙写真のことは

中井侍の湯立て祭りのお練り 長野県天龍村中井侍 11月23日 坂本 要
 「民間念仏信仰の研究」の構想(6) 8. 傘ブクと吊り下げ物 坂本 要
 遠州の木曾御嶽講一木曾と遠江をつないだもの 小林奈央子
 学会・研究会情報 民俗芸能学会
 新刊紹介 清水昭男著『訪問記 郷土玩具をつくる人々—その人々は、
 指先から玩具を生み出していた—』

三 重 県

◆織豊期研究 織豊期研究会

〒514-8507津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部 日本史研究室内
 TEL059-231-9218 年1500円 1999年創刊

◇23 2021.10 B5 186p

織田信長文書と古文書研究	高木 叙子
特集 天正八年織田検地帳	
播磨・但馬の天正八年羽柴検地帳	前田 徹
天正八年武吉村指出帳と丹波国検地	飛鳥井 拓
織田検地と所替・国替	藤田 達生
足利義昭の奉公衆と城普請	馬部 隆弘
秀次切腹をめぐって	藤井 譲治
「小山評定」と福島正則の動静	本多 隆成
徳川政権に対する大名の交渉	
一初期幕藩関係における公儀普請を事例に	川路 祥隆
戦場を歩く—戦場調査ガイド 続・長島一向一揆	石神 教親
書評 久野雅司著『織田信長政権の権力構造』	小久保嘉紀
活動報告	事務局(文責・藤田達生)

滋 賀 県

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇135 2021.12 A4 4p

テーマ展 井伊家近代文書からみる彦根城

井伊家御所有地彦根城郭内外書類 当館蔵

展示案内 2021年12月～2022年3月 テーマ展 展示室1 井伊家近代文書からみる彦根城、テーマ展 展示室1 老いを言祝ぐ一能の世界から、特別公開 展示室1 雛と雛道具、テーマ展 展示室1 合戦の現場—井伊家の軍勢と集団戦

研究余録 金亀玉鶴

陪臣から学校教員へ—石居勘平・森弘平の経歴

早川 駿治

京 都 府

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇919 (91-9) 2021.11 A5 34p 918円

日本庭園・石造美術あれこれ(7) 福羽逸人と京都の造園界(下) 尾崎 博正
宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(5)

—『興聖寺作木并掃除覚帳』の分析から

尾崎 洋之

狛坂磨崖仏について(1)

山根 祥司

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊

<https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/>

◇85 (29-2) 2021.10 A4 4p

すごろくゲーム「平和 Lab.～平和研究室へようこそ」 田畝 美紀

学生スタッフ 活動記録 メディア資料室学生スタッフ編 唐 鈺

平和教育研究センター講演会『「核兵器のない世界」をめざすために』

実施報告 講師：川崎哲氏／参加者の声

清水 郁子

ボランティアガイドコラム 「展示ガイド」体験記

伊東 昭

遊心雑記 Peace と Pay は仲間？

安斎 育郎

大阪府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇406 2021.10 B5 12p

立石垂顚念典が生きた時代と人々(11)

第五章 立石家譜を読む(続) 三、山本出会いと別れ 立石 元
土地台帳にみる土地利用(11) 中庄 井田 寿邦
現代語訳「食家と佐野と海」(14) 二山 和美
史料紹介 泉州の地誌(9)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(9)

◇407 2021.11 B5 12p

「和泉國泉郡内畑村繪圖」を読む(5)ー水利環境を中心に 其の五

「井堰」と村の形成ー荒井湯と市ノ井堰を中心に 池田 雅治
土地台帳にみる土地利用(12) 上瓦屋 井田 寿邦
現代語訳「食家と佐野と海」(15) 二山 和美
史料紹介 泉州の地誌(10)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(10)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇443 (38-9) 2021.9 B5 4p

巻頭言 神のおやしるのこと(65) 澁標住吉神社 和久 敦也
ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『横山大観の全
貌』足立美術館コレクション選 足立美術館監修、『大観伝』(講談
社文芸文庫) 近藤啓太郎、カラー版『横山大観』ー近代と対峙した
日本画の巨人(中公新書) 古田亮、『横山大観』ー大観画談(人間の
記録103) 横山大観

◇444 (38-10) 2021.10 B5 4p

巻頭言 神のおやしるのこと(66) 土佐稲荷神社 和久 敦也
ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『前野蘭化〈2〉』
解体新書の研究(東洋文庫) 岩橋克己、『前野蘭化〈1〉』解体新書
以前(東洋文庫) 岩橋克己、『前野蘭化〈3〉』著訳編(東洋文庫)
岩橋克己、『前野良沢』ー生涯一日のごとく 鳥井裕美子、『冬の鷹』

(新潮文庫) 吉村昭

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇864 2021.11 A4 10p 300円

東大寺の伽藍に日本建築史の軌跡をたどる 矢ヶ崎善太郎
南山城の信仰とその造形—岩船寺と浄瑠璃寺を中心に 富島 義幸
松永久秀と信貴山城 天野 忠幸

◇865 2021.12 A4 12p 300円

大阪城—三層重ねの歴史をたどる 大澤 研一
厩戸皇子(聖徳太子)と斑鳩 鷺森 浩幸
長岡宮の構造と造営実態 網 伸也

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊

<http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

◇104 2021.9 A5 64p 1500円

溝口睦子氏の逝去を悼んで 河越 尚司
二〇二〇年・古代史総括 森岡 秀人
聖徳太子の生没年についての覚書 寺西 貞弘
新刊紹介 『偽書が揺るがせた日本史』 原田実著 上遠野浩一
アンデス通信(57) 「いのち」の誕生? 市木 尚利
一光三尊像のルーツについての一考察(4)
第三節 一光三尊像発生のアイデア つづき 山下 輝幸

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇634 2021.10 B5 22p

丹波 周山城を訪ねて(11月・第697回例会)
愛媛県 黒山城跡を訪ねて 坂本 昇
赤穂城を訪れました 水品 弘樹
雲伯の城と史跡巡り(後編) 藤岡 秀典
別冊(B4 6頁) 第696回例会 大和 宇陀松山城と町並みを探訪
担当幹事: 川井剛・川端義憲

◇635 2021.11 B5 28p

近江 宇佐山城を訪ねる(12月・第698回例会)

10月・第696回例会の報告 宇陀松山城と町並みを探訪する

担当幹事：川井剛・川端義憲

報告・川端義憲

法楽寺山門は、宇陀松山藩織田家からの移築、と

木下 修二

愛媛県 龍王城跡を訪ねて

坂本 昇

愛媛県 大除城跡を訪ねて

坂本 昇

別冊 (B4 6頁) 第697回例会 丹波 周山城を訪ねて

担当幹事：下岡力・高菅純子

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇403 2021.10 B5 20p

消えた「系図一巻」と『日本書紀』の「別巻」

荊木 美行

文献史学の考古学の協同への期待

一塚口義信氏と清家章氏の研究の触れて

水谷 千秋

パレオゲノミクスで解明された日本人の三重構造

石塚 一郎

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇288 2021.10 A5 103p 900円

特集 近世堺と鉄砲鍛冶

特集にあたって

大阪歴史学会企画委員会

井上関右衛門家資料調査から(仮称)堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムへ

中村 晶子

「銃砲史」のなかの堺鉄砲鍛冶井上関右衛門家について

藪田 貫

近世都市堺・中浜一丁目の空間構成と家・家持

山下 聡一

わたしたちの文化財 三木家住宅の新たな活用について

長谷川幸子

地域の歴史を守り伝える 地域住民と協働の地域おこし事業

一小野藩陣屋町の歴史認識を高める

石野 茂三

書 評

堀井佳代子著『平安前期対外姿勢の研究』

河内 春人

松川雅信著『儒教儀礼と近世日本社会—闇齋学派の『家礼』実践』

山下 耕平

清水光明著『近世日本の政治改革と知識人—中井竹山と「草茅危言」』

兵庫 県

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 1997年創刊 <http://www.maple.or.jp/~shimaya/>

◇30 2021.11 B5 49p

誌上インタビュー 神話のかたること	中沢 新一
特集 神話の世界	
アマテラスと日本神話	松村 一男
失念・誤解・口の軽さ・ノスタルジア…コミュニケーション不全の
神話学	出口 顯
神々の幸（さきわ）う国一播磨の神話世界	埴岡 真弓
室津開港の神話を分析する	柏山 泰訓
神話の文献案内	編集部
播磨の10人 第十回 大鳥圭介	千田 草介
博物館遊歩(30) 鳥根県立古代出雲歴史博物館	岡本 一馬
漂流地方史(4) 『伊能忠敬』(2)	三木 敏明
広告世相視 「ワクチンもない。クスリもない。タケヤリで戦えとい
うのか。このままじゃ、政治に殺される。」	一言居士
町並み探訪(29) 三木～別所氏の城下町から在郷町へ	
多様な産業が支えた町並み(兵庫県三木市)	八木 雅夫
表紙写真の説明 「斧・鉞・鎌」	柏山 泰訓

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 1981年創刊 <http://www.geocities.jp/kakenkyou/>

◇72 2021.11 B5 107p 1500円

大谷吉継の祖系に関する一考察—平姓の土屋・垣屋一族の分布と系譜	宝賀 寿男
古書に見える珍姓・難読姓(4)	安原 繁利
先祖調べは大人の総合学習(3)	
～ネットで先祖調べ、グーグルブックスの利用	野口 裕子
東京国立博物館所蔵『武田族譜』の考察	真野 信治

「公」の字を通字とし馬允の官位を持つ橘氏	岡田 有史
嵯峨源氏の伝承について(2)―筑後柳川藩士三池氏の系図	山邊 尚幸
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(12-1)	浪平 博司
表紙家紋「丸に千鳥」	馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyou.g2.xrea.com>

◇78 2021.11 B5 8p

三日天下ならぬ…	馬原 浩一
家系研究小ネタ特集 第4回 天正遣欧少年使節の4人について	
書評 『天正伊賀の乱 信長を本気にさせた伊賀衆の意地』	
和田裕弘著	(馬原)

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇86・87 2021.11 B5 10p

わが国最初の白瀬南極探検隊に参加した生田神社神職について	加藤 隆久
『播磨国風土記』賀古郡・印南郡について	廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321
<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇643 2021.10 B5 8p

笹部新太郎氏と西宮市	安東 峻
永福寺の「高野四社明神画像」―保存修理を終えた西宮市指定文化財	笠井今日子
会員活動報告 『兵庫県助成事業』としての『開門神事』	中村宏／山本純子

◇644 2021.11 B5 8p

水島爾保布の描いた甲山 阪神名勝図絵	土井久美子
小説の旅―ねぶた	奥 喜代孝
西宮の「道しるべ」	中谷真悠香
会員活動報告 『基地モニター』(海自・阪神基地)委嘱	山本 純子

奈良県

◆LUCIFER ルシファー 水平社博物館

〒639-2244御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

◇24 2021.10 A5 60p

表紙写真 全国水平社創立者たち 左から平野小剣、米田富、南梅吉、

駒井喜作、阪本清一郎、西光万吉、桜田規矩三

企画展・特別展 第21回企画展「夜間中学生 学ぶこと、それは生きること」を開催して

駒井 忠之

企画展・特別展 第24回特別展「柏原の三青年—彼らの熱と光」を開催して

佐々木健太郎

公開講座報告 2020年度第2回公開講座「夜間中学と文部省の『改心』」現代教育行政研究会代表 前川喜平さん

公開講座報告 2021年度第1回公開講座「柏原の三青年—彼らの熱と光」水平社博物館学芸員 佐々木健太郎

事業報告 2020年度「熱“と“光”のショートレター」

事業報告 水平社博物館のリニューアルに向けて 水平社創立の理念を共有し、人類最高の完成へ

和歌山県

◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会

〒642-0014海南市小野田1221-1 前田敬彦方 1998年創刊

◇24 2021.8 B5 98p 2000円

特集 躍動する熊野の武士団—その本拠地と特質を探る

特集にあたって

事務局

戦国期熊野の基本動向—戦乱を中心に

坂本 亮太

考古学的視座からみた史跡安宅氏城館跡

佐藤 純一

中世後期那智山麓の城館と地域社会

白石 博則

紀伊地方に「瀬戸内技法」は存在するのか

中原 正光

花山古墳群の埴輪—岩橋千塚古墳群の埴輪(1)

河内 一浩

戦国時代の紀伊に伝来した富本銭

—白浜町八幡山城跡出土「富本銭」の再評価

北野 隆亮

資料紹介 和歌山県白浜町網不知岩陰遺跡出土資料

—浦宏氏収集資料の図化成果(その3)

田中 元浩

追悼 植田法彦先生を悼む
和歌山県の考古学関係文献目録(2020年)
活動記録 研究大会記録 紀伊考古学研究会第24回大会(第164回)
「躍動する熊野の武士団—その本拠と特質を探る—」/例会記録

前田 敬彦
事務局

◆国際熊野学会会報

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課
TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇36 2021.10 A4 4p

木喰五行(行道)の日本廻国—天明六年、伊勢路から熊野路巡礼へ 八木 勝行

島根県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966
年2500円 1974年創刊

◇208 2021.10 B5 42p

大鳥居上野山西井戸の歴史

馬庭 孝司

出雲大社境内遺跡一字一石経出土の遺構について

石原 聡

出雲大社の寛文造営と社域内外の動き

島根県古代文化センター報告書(H25年3月)から転載

山崎 裕二

企画展「COME on 山陰弥生ライフ—米作り、はじめました。」

島根県立古代出雲歴史博物館(文責・原田敏照)

ギャラリー展「1964年東京五輪の年の考古学—そのとき何が見つかった？」

出雲弥生の森博物館(文責・高橋周)

読者コーナー 十六善神を探して

坂本 達夫

令和3(2021)年4月～6月 出雲市大社町年表

編集部

岡山県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円
2002年創刊

◇80 2021.10 A4 10p

宇喜多秀家の元服・婚姻時期

大西 泰正

悲運の武将・宇喜多秀家(3) 秀吉の天下人と秀家の成長

内藤 勝輔

岡山城の「近代化改装」
物語直家記伝 西大寺辺の城 第50回 転変 (6)

出宮 徳尚
山重十五郎

◆岡山民俗学会会報

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円
<http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇227 2021.11 B5 8p

理事長交代のご挨拶

理事長退任にあたって

難波 俊成

就任のごあいさつ

小嶋 博巳

8月例会 発表要旨

岡山市東区瀬戸町における民間寺院の成立

平松 典晃

結婚式には墓石を一愛媛県における石打ち習俗の聞き取り調査

遠部 慎

11月例会 発表要旨

三幡鉄道の歴史と保存活動について

内田 武宏

日本遺産“北前船寄港地”

一下津井の港湾施設遺構と集落の現状について

尾崎 聡

新刊紹介

立石憲利編著『総社市 旧山手村 くらし・民話・俗信』、立石憲

利編著『チャンポンと鳴る鼓滝』

(KH)

宮家準『備前の児島・五流修験—その歴史と伝承』

(KH)

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505
<http://www.o-bunka.or.jp>

◇163 2021.9 A5 14p

美術館を日常生活の一部に—新見美術館の三十年

藤井 茂樹

延養亭—殿様の眺め

信江 幸雄

岡山の人物 出隆

尾島 治

岡山の自然 阿弥陀堂のイチョウ

寺坂 信也

岡山の文化財 佐伯町ふる里会館(旧和气郡山田村役場庁舎)

森元 純一

わが町・わが村の自慢 道の駅「山陽道やかげ宿」(小田郡矢掛町)

ふるさとの思い出 三谷の金剛童子(岡山市東区)

万城 あき

会員だより 旧岡山城下町とその近隣のダンジリ

田中 豊

広島県

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522東広島市鏡山1-2-3 広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊 <http://hiroshima-u.ac.jp/geishi/>

◇318 2021.11 A5 40p 600円

大倉組山陽製鉄所の新出写真について 石田 雅春
書評 長谷川博史著『列島の戦国史三 大内氏の興亡と西日本社会』鹿毛 敏夫
新刊紹介 久下実著『広島藩』 八幡 浩二
動向 広島県の地方史研究 雑誌目録／研究活動

史跡をあるく 愛媛県岡村島観音崎遊女の墓 文・写真 鴨頭俊宏

芸備掲示板 企画展「ひろしま紙ものがたり」 頼山陽史跡資料館／
第29回特別展「菅茶山と頼山陽」 菅茶山記念館／企画展「江戸の
旅と愉しみ」 広島城／企画展「輝元、広島城に入城す」 広島城／
企画展「山縣二承と里見雲嶺～広島四条派の系譜」 広島城／企画
展「花鳥風月」 広島城／秋の特別企画展「江戸時代の子ども事情
—幼き者へのまなざし」 みよし風土記の丘ミュージアム（広島県
立歴史民俗資料館）／新着資料展「新着資料展（令和元年度寄贈資
料）」 広島平和記念資料館／収蔵資料の紹介コーナー「イマダ ユ
クエハ シレズ」 広島平和記念資料館／秋の企画展「守屋壽コレ
クション受贈記念「京・江戸・長崎～近世・海の旅と憧れのまち」
について」 広島県立歴史博物館／企画展「たるところ歳時記一俳句で
たどる暮らしの風景」 芸北民俗博物館・北広島町教育委員会

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇221 2021.11 A4 20p

備後国衆列伝(9) 御調郡の石原氏 田口 義之
津田郷と津田茶臼城踏査報告 現地見・案内：山ノ内マキ
鳥瞰図：山岡佑佳 文責：杉本憲宏 中世史部会
中條の条里制区画を考える(2)—旧道上村の由来 瀬良 泰三
中世石造物の調査報告
山田経由の鞆街道の砦 杉本 憲宏
田口義之の備後山城50選(46) 山名氏の城 高根山城
近世福山の歴史講座 第二回水野時代 総集編 高木 康彦
小林悠一のかんたん古文書講座 第7回 小林 悠一

郷土探訪 福山領と芸州領の藩境碑の今昔風景	岡田宏一郎
大門便り 小丸茂平の祇園船(大津野民謡)	曾我部 光
読者ノート 『日本書紀』吉備国 七、神武皇統を守った吉備	若林 啓文
1枚の写真から 懐かしの塩田風景(松永)	岡田宏一郎

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇368 2021.11 B5 12p

今月の各地 山姥の手形と人の暮らし	吉原 和喜
福島正則の終活(形見分けリスト)	上田 茂
日本の牛と馬、交通の歴史(17) 第3章 江戸時代を見る眼	三好 邦範
三原市のカワウ対策 第2報(前期)(7)―平成24年～平成29年の取組 平成29年度(2017年)	行長 啓三

◇369 2021.12 B5 12p

今月の各地 銀座・三原橋交差点の命名を推理	下西 勝彦
昭和22年の天皇行幸(1)	西村 雅幸
日本の牛と馬、交通の歴史(18) 第3章 江戸時代を見る眼	三好 邦範
三原市のカワウ対策 第2報(前期)(7)―平成24年～平成29年の取組 平成29年度(2017年)	行長 啓三

山 口 県

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口市後河原150-1 山口県文書館内 TEL083-924-2116 1954年創刊
<http://www.ysflh.jp>

◇126 2021.10 A5 126p

会長就任にあたって	脇 正典
小早川隆景旧臣井上宗玄(景貞)と都合戦	赤井 弥
高杉晋作における一人称代名詞「僕」の使用	牛見 真博
良馬其席ニ陪スー慶応二年正月薩長会談考	新出 高久
「討將軍」と「討幕」―上方政変と関東進撃	下田 悠真
陶隆房と大寧寺の変について	中原 健
弘津金石館のある風景―内観写真をめぐる新知見	北島 大輔
近世史用語「異国船」をいかに教えるか	鴨頭 俊宏
下関市「壺」を巡る神事―豊穰を祈る	日高 千晶
第133回山口県地方史研究大会 誌上討論	

石川俊「萩藩毛利家における乳母」、菅野賢治「『関門日日新聞』に見る戦時日本へのユダヤ難民到来—1938年11月～1940年8月」、熊野一就「長州毛利氏の家臣と浪士たち—文久・元治期の政治工作を中心に」
山口県地方史学会事務局
地方だより 大島地区／岩国・玖珂地区／熊毛地区／周南地区／山口地区／宇部地区／山陽小野田地区／美祢地区／長門地区

愛媛県

◆いせきニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇155 2021.9 A4 20p

松山の古墳(3) 芝ヶ峠 1号墳 正岡 睦夫

伊予の近世城郭石垣構築技術(5)

宇和島城石垣(4)—長門丸西角矢倉石垣 十亀 幸雄

松山市小村稲荷神社昭和18年自然災害伝承碑 十亀 幸雄

◇156 2021.10 A4 20p

松山の古墳(4) 播磨塚古墳 正岡 睦夫

伊予の霊山(4) 砥部町三角行者山—砥部の里修験の一様相 十亀 幸雄

◇157 2021.11 A4 24p

松山の古墳(5) 鶴塚古墳(畑中の塚) 正岡 睦夫

伊予の中近世井堰(1) 砥部川下流筋の中近世井堰—麻生水論 十亀 幸雄

◇158 2021.12 A4 20p

愛媛県の漢式鏡(21) 唐子台遺跡群の鏡 名本二六雄

松山の古墳(6) 桜谷古墳 正岡 睦夫

伊予の近世城郭石垣構築技術(6) 宇和島城石垣(5)—天守台石垣 十亀 幸雄

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇403 2021.10 A5 49p 750円

特集 地域史研究と歴史教育

特集にあたって 編集委員会

中学校における歴史教育の現状と展望 中平 景介

高等学校における日本史教育の現状と方向性 田窪 理志

地域資料の教材化をめざして—資料からみる日露戦争期の松山 川島 佳弘

愛媛県におけるスペイン・インフルエンザの流行について(1)

- 「前流行」を中心に 永井 紀之
 新刊紹介 藤田達生著『天下統一論』、武田和昭著『江戸時代の四国
 遍路を読む』、四国中世史研究会編『四国中世史研究』一六号、倉
 地克直著『江戸時代の瀬戸内海交通』、新居浜市編『新居浜市の歴史』
 編集部
 郷土その日その日 自令和3年2月至令和3年6月 編集部(柚山俊夫)
 例会記事 第1266回 江戸・明治期の別子銅山製錬所群—別子山元で
 の考古学的調査を中心に—十亀幸雄氏、軽太子・軽太郎女悲恋物語
 の謎—息長氏王朝と外戚葛城氏の政権抗争の犠牲者か—竹田美喜氏
 /第1267回 松山出身の明治の科学者小川正孝と幻の新元素—久松
 洋二氏、今治城絵図の歴史—藤本誉博氏

福岡県

- ◆九州史学 九州史学研究会
 〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト一号館 九州大学文学部日本史学研
 究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊
https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/
 ◇189 2021.9 B5 82p
 戦国期都市と農村との交流—筑前国博多と早良郡の関係を中心にして
 吉良 国光
 濃尾地震と仏教—真宗本願寺派の被害と対応、復旧・復興について 辻岡 健志
 書評
 稲葉継陽・小川弘和編著『中世相良氏の展開と地域社会』 窪田 頌
 赤司友徳著『監獄の近代—行政機構の確立と明治社会』 小林 篤正
 クラマー・スパン著『「昭和の大合併」と住民帰属意識』 藤田 理子
 彙報—近現代史部会の活動報告 文責・野島

佐賀県

- ◆末盧国 松浦史談会
 〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
 ◇227 2021.9 B5 20p
 浪瀬山神社 肥前狛犬
 所有者：唐津市巖木町浪瀬浪瀬区 祭神：大山津見神 志佐 惲彦
 江戸城の寺沢櫓と石垣 寺沢 光世

岸川善太郎関係資料について(2)	多々良友博
唐津・発掘・発見の話(15)	
佐藤林賀、神集島でいわゆる「ドルメン」を発見す	徳富 則久
唐津藩和多田村の郷足軽及び同村内唐津街道古道について	山口 浩
考古学における地方史研究の成果 五、時代の証(5)	
火山噴出物3 二、時代を考える火山噴出物	田島 龍太
「諸岡文書」(九州大学所蔵) その7・その8	
小笠原家の借用証書	山田 洋

長 崎 県

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052五島市松山町604-10 筑田俊夫方 Tel.0559-74-2667

◇112 2021.11 A5 122p

父・鳥山豊吉の生涯一奇跡の引揚げと町長室の芋粥	鳥山 武臣
故里、深江に思う	上田 浩三
「次、どこ行くの」(1)	石田ちとえ
京の片隅で(7)	伴 靖子
五島列島取材記と故郷への回帰録	増田 常德
思い出すことなど(2)	内海 紀雄
「松浦会友」の戦中・戦後体験記より(中)	
「平和道75年」を、更に長きへ(4)	片山 圭弘
追悼記 恩師山中亀久朗先生を偲んで	櫻井 隆
そのほか・トピックス	
大野きゆう随筆抄～七編	
この頃のわたし 片山寛葉・詠	
潮の目 ある日・ある時・五島の動き	
「地元出身画家 増田常德さん表紙絵 五島文化協会同人誌「浜木綿」	
111号は「堂崎回想」(令和3年5月30日 長崎新聞掲載)	
コラム 高齢免許更新／路地の風景／山本山／事故／盆の雨	(筑)

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇105 2021.11 A4 8p

石の証言 北支舞部隊本部 山西省太原

情勢 コロナ、総選挙、太平洋戦争、ミャンマー

考える会発足30周年記念に思う

杉尾 宏

「八紘一宇」の塔建設80周年記念企画のブックレット発行!!

「八紘一宇」の塔を考える会 発足30周年記念講演会 講師：税田啓一郎さん(「考える会」会長) 演題：「平和の塔」の史実を追い求めて30年

反戦と慈愛に生涯を捧げる瀬戸内寂聴さん死去／ケンブリッジ大、掠奪文化財「ベニン・ブロンズ」をナイジェリアに返還／トピックス
ともかくにも「考える会」発足30周年記念事業です

鹿 児 島 県

◆鹿児地域史研究 鹿児島地域史研究会

〒890-0065鹿児島市郡元1-20-6 鹿児島大学教育学部 日隈研究室

TEL099-285-7847 2002年創刊 <http://kchiiki.kachoufuugetu.net>

◇9 2021.10 A4 57p

『上井党兼日記』にみる戦国島津家の政策決定過程

一島津義久と談合衆の関係を中心に

新名 一仁

薩摩国におけるキリシタン集団

一十六世紀後半～十七世紀初頭の宣教活動とルソン貿易

岩崎 信幸

2020年度卒業研究要旨

西平内 I 遺跡は「葬祭センター」であるかの研究

浜道 桜葵

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇247 2021.11 B5 8p

11月定例会レジメ ミャーカの測量調査を通じた研究報告

久貝 弥嗣

12月定例会レジメ 石碑にみる琉球政府時代の痕跡

森谷 大介

9 定例会まとめ 地下ダムの先駆者たちを巡る巡検

池城 直

『歴史文化資料館』開館 宮古島市歴史文化資料館

発掘調査速報二〇二一 友利元島遺跡

久貝 春陽

文化講座 発掘調査にみる砂川・友利の歴史
宮古島市総合博物館ミニ展示 『宮原昌茂展』の紹介
「国際サシバサミット 2021宮古島」の紹介
大和川と大川

久貝 弥嗣
寺崎 香織
與那覇史香
仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆**崎浜の民俗**—宮城県気仙沼市大島崎浜地区 神奈川大学歴史民俗調査報告21
小熊誠編 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科（〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661）2021年3月 A4 224頁
2018年8月6日から10日、2019年8月9日から13日にかけて行われた「民俗資料調査実習」の成果の記録。まえがき（小熊誠）／調査実習の概略（兪鳴奇）／気仙沼市大島・崎浜地区の概要（小野寺佑紀）／暮らしと生業 崎浜における農業（石川雄也）、大島のアワビ漁と漁具（小野寺佑紀）、大島の刺網漁と遠洋漁業（宇野浩貢）、大島における定置網漁（兪鳴奇）、大島におけるカキ・ホタテ養殖（楮乙黙）、大島におけるワカメ養殖（丹羽英二）／家族と社会 大島の暮らしと住生活（佐藤夏美）、大島のイエと家族（小野寺佑紀）、大島における家族と親類（陳華澤）、崎浜美和会が果たす社会的機能の変遷（坂爪裕）、崎浜における「唄い上げ」（小野寺佑紀）、大島における観光事業（張瀟）／災害と復興 東日本大震災と災害伝承（小野寺佑紀）、大島の復興について（馬程浩）／郷土料理と食生活 大島における茶文化（潘城）、大島における陶磁器（王麗）、大島における行事食（代錦）、崎浜における郷土料理（賀美郷）、大島のお盆の郷土料理（王甜雨）／結婚と産育 大島における結納（張馨子）、大島における結婚儀礼（張弘毅）、大島における結婚と装束（肖韻）、大島の婚宴（曹旭東）、大島における産育（王麗）、大島の出産にまつわる習俗（劉佩華）／年中行事 大島の年中行事（陳辰）、大島の正月行事（劉伊琦）、大島におけるオミダマの習俗（小野寺佑紀）、大島における盆行事（劉喬宇）、大島における葬送と盆行事（小橋風音）／神仏と民間信仰 大島における地藏信仰（衡蕪）、大島における念仏信仰（馬程浩）、大島における庚申信仰とお日待（太田原潤）、大島におけるアンバ信仰（任健）、大島におけるフナダマ信仰（李干）、大島における屋敷神信仰（王憶卿）／祖先祭祀と慰霊行事 大島における祖先祭祀（王堯玉）、大島における墓制（宋鶴凌）、大島における墓制と供物（李光耀）、大島における戦没者慰霊（郭立東）／あとがき（小野寺佑紀・兪鳴奇）

◆**近世黒羽藩の大画家** 大田原市黒羽芭蕉の館令和元年度企画展図録
大田原市黒羽芭蕉の館・刊（〒324-0234 栃木県大田原市前田980-1 TEL0287-54-4151）2019年10月 A4 62頁
黒羽芭蕉の館の令和3年度企画展（10月23日～12月5日）の展示図録。黒羽藩領

下野国芳賀郡益子村の鹿島神社神官木村市正の子として生まれ、数多くの優れた絵画作品を制作した小泉斐(あやる、1770～1854)の生誕250年を記念して、昨年開催の写真パネル展「近世黒羽藩の画人小泉斐に宛てた殿様自筆の手紙」につき、小泉斐の数々の作品を紹介する。ごあいさつ／カラー図版 黒羽藩主大関氏との交流の中で、幅広い交流の中で、小泉斐と門人たちの鮎図、富士山と那須山、知られざる小泉斐作品・資料／作品解説／参考文献

◆品川区立品川歴史館特別展 変わりゆく品川の風景

—新地開発から八潮地域の誕生まで

品川区立品川歴史館編・刊 (〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060) 2021年10月 A4 116頁

品川区立品川歴史館の令和3年度特別展(10月9日～12月5日)の展示図録。日々変わりゆく品川に焦点をあて、江戸から昭和までの時代の中で品川の風景がどのように変化したのか、絵画資料などを使って紹介する。ごあいさつ(鈴木章生)／プロローグ 品川のいま～空から見た風景／江戸と東京の名所・品川(浮世絵版画と版本に描かれた世界、明治～「新時代」の風景)／スケッチ、近代版画と絵葉書で紡ぐ品川の風景(大正～関東大震災前後、品川区と荏原区誕生前後の風景)／写真が記録した品川の発展(戦災から戦後へ、戦後から高度経済成長期へ)／エピローグ いま、歴史を残す～吉田秀雄記念館から品川歴史館へ／コラム 竹内重雄と大正風俗スケッチ、川瀬巴水とその作品、明治と大正の風水害、「新東京百景」の刊行と前川千帆、小泉癸巳男が語る「昭和大東京百図絵版画」、直江健吉が写した品川の風景／付録 掲載資料リスト

◆日外アソシエーツ創業者 大高利夫追悼文集

日外アソシエーツ編・刊 (〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴木ビル大森アネックス TEL03-3763-5241) 2021年12月 A5 86頁 非売品

2020年8月28日に逝去した日外アソシエーツ創業者 大高利夫氏の追悼文集。追悼文17編のほか、氏の講演・インタビューなども収録する。お悔やみ(御手洗富士夫)／「コンダクター」(山川隆司画)／思い出フォト／ご挨拶(山川浩)／第一部

追悼文 大高君との長いつき合い(平川千宏)、高校からの仲間、橋本、御手洗さんと共に(細田眞司)、大高利夫さんの思い出(黒瀬威)、大高さんは、若すぎて惜しい(天谷修身)、亡き大高利夫さんを偲んで(山川隆司)、日本の索引ビジネスの先駆者(関野陽一)、日本電子出版協会のピンチからの脱出(三瓶徹)、大高さんのこと(三浦勲)、大高利夫さんを偲ぶ—電子情報サービスの創成期に出会って(長塚隆)、大高利夫様を偲んで(本幸子)、大高さんの功績を讃えるために(太田泰弘)、大高さんのダンディズム(山崎久道)、大高社長の素晴らしい人生(京藤松子)、大高社長への憧憬(水谷長志)、文化人 大高利夫(柴田耕太郎)、大高社長と私の事典(三谷康之)、そちらは今(山内明子)／第二部 講演・インタビュー

講演「レファレンスツール～この四〇年とこれから～」、インタビュー「日本一の「索引・書誌」情報サービス会社が語る次世代電子出版ビジネスの姿」、エッセイ「釣りとシマアジ」／第三部 年譜—大高社長と日外アソシエーツ

◆片岡日記 昭和編（昭和元年～昭和九年）

星野和子校訂 小田原史談会編・刊（〒250-0021 神奈川県小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852）2021年11月 A4 226頁 1000円＋税

「片岡日記」は、幕末の小田原本陣家に生まれ、明治期には小田原町の議員、助役といった公職を歴任し、その後藤沢貯蓄銀行（後関東銀行）の小田原支店長として在職する傍ら郷土史家としても活躍した片岡永左衛門（万延元年〈1860〉～昭和18年〈1943〉）の全3冊978丁に及ぶ日記。本書には、昭和元年（1926）から筆を措く昭和9年（1934）までの記事を翻刻・収録する。会では引き続き「大正編」（会誌『小田原史談』に連載中）、「明治編」の出版も計画している。口絵／「片岡日記」昭和編 解題（星野和子）／「片岡日記」昭和元年（1926）～昭和9年（1934）／内容目録／人名索引／あとがき（青木良一）

◆2021（第33回）平和のための富士戦争展の記録

核兵器廃絶平和富士市民の会編・刊（代表：小長谷保 事務局：加藤善夫）2021年10月 B5 68頁

1988年の第1回開催から33回目を迎えた「平和のための富士戦争展」（2021年8月10日～15日、ロゼシアター展示室）の記録集。「核兵器禁止条約発効をうけて地球上から核兵器をなくそう！～軍備よりワクチンを～」をテーマに、小松由佳写真展「内線からトルコ南部に生きるシリア難民」とあわせて2部構成で展示する。巻頭言 コロナ禍を越えて（核兵器廃絶平和富士市民の会）／フォトギャラリー／第33回平和のための富士戦争展展示品一覧／展示内容紹介 小松由佳写真展、地域の戦争記録 富士の反戦投書事件（加藤善夫）、富士にもあった空襲、平和主義と日本国憲法、沖縄戦展示コーナー 沖縄戦ってどんな戦争？、被曝体験証言者と高校生と共同製作による原爆の絵／参観者の声／2021 アンケート集計／平和のための戦争展をみて 富士市立大淵中学校 戦争を知る（大武うみ）、戦争は何のためにあったのか（小山愛莉）、先人たちのご苦勞によってもたられきた今の時代（藤田聡太郎）／スタッフの感想 戦後76年目の戦争展（小長谷保）、コロナ禍での戦争展の成功（土屋芳久）、戦争展の意義（若林淳弥）、毎年、新しい気付きと力を得る（濱川悦子）、戦争を語り継ぐ試みに明るい希望を感じ取れた（菊池邦安）、コロナ禍でも成果があった戦争展（永田康久）、しっかりとした意識を持って（閑崎菊一）、新たな工夫を（加藤善夫）、戦争展を振り返って（植松信子）、戦争展のこれから（堀川文夫）、時代に合わせた変化を（和田政憲）、継続は力なり（牧野晃一）、コロナ禍での「平和のための富士戦争展」（塚原よし子）、沖縄戦の真実を忘れないでほしい（山崎ひろみ）、歴史の実態を直視する（篠原

裕)、新型コロナウイルスの感染拡大の中で(影山俊子・加藤よしえ)、小・中学生らも判りやすい展示を!(望月明彦)、第33回戦争展が無事終わった!(山下一郎)、いろんな人と出会えた!(金井知貴)、更なる広がりを、そして継続!(渡辺美折) / 活動の記録 / 記事スクラップ / 核兵器廃絶平和と富士市民の会

◆江戸時代初期の宇治川堤一維持管理システムの構築

坪内淳仁著(宇治市教育部博物館管理課学芸員) 宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2021年10月 A4 14頁
急流で知られる瀬田川・宇治川・淀川の淀川水系をはじめ、山城国内の宇治川筋と木津川筋を中心として、これらの河川堤についての江戸時代初期から中期にかけての河川普請制度を整理しつつ、国役普請による徳川幕府の河川管理システムの一部を見ていく。はじめに / 絵図等に見る宇治川の護岸 / 「京都役所方覚書」にみる宇治川・木津川筋普請制度 / 「京都御役所向大概覚書」にみる宇治川・木津川筋普請制度 / 享保五年以降の宇治川・木津川筋普請制度 / 主な参考文献と引用文献 / 表紙「方角改正五畿内掌覧」(部分、宇治市歴史資料館蔵)

◆収蔵資料調査報告書23 尾崎坊家文書

宇治市歴史資料館編・刊(同上) 2021年3月 B5 49頁
宇治市歴史資料館が収蔵する資料の目録と解説からなる収蔵資料調査報告書第23冊。江都時代、宇治郷新町に居住し、将軍家や尾張徳川家への御茶御用を勤めた宇治御茶師・尾崎坊家文書63点の調査報告書。宇治御茶師関係文献案内 / 凡例 / 解説 / 翻刻史料 (由緒書、先祖より八代まで将軍家御茶御用、尾州様御出入等につき)、(由緒書、元祖・先祖将軍家御茶御用、尾州様へ御出入等につき)、(尋書、永教姉花月院殿嫁附由緒について)、(願書、将軍家への御目見など七か条につき)、尾張様御目見書留 / 尾崎坊家文書目録

◆第29回企画展 大山崎神人と豊臣秀吉—『井尻家文書』の世界

大山崎町歴史資料館編・刊(〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 TEL075-952-6288) 2021年10月 A4 48頁
大山崎町歴史資料館の令和3年第29回企画展(10月23日～11月28日)の図録。平成29年12月に発足した暫定登録文化財制度に登録された『井尻家文書』を取り上げ、中世期は神人、近世期の社家として活動していた井尻氏が伝えた1000点を超える文書を通じて、油売りのイメージが強い大山崎神人の活動を見直す。ごあいさつ(福島克彦) / 一、相寺の地を守る / 二、対外的な活動 播磨との関わり / 三、神人から社家へ / 解説 大山崎神人と豊臣秀吉—『井尻家文書』の世界(福島克彦) / 資料解説 / 展示品目録 / 参考文献

◆現代語訳 上井覚兼日記2 天正12年(1584)正月～天正12年(1584)12月

新名一仁編著 ヒムカ出版(〒880-0954 宮崎県宮崎市小松台西1-3-5 TEL0985-47-5962) 2021年11月 A5 231頁 1800円+税

島津義久配下の武将として活躍した上井覚兼(天文14年<1545>~天正17年<1589>)の日記(『大日本古記録 上井覚兼日記』(上) 東京大学史料編纂所本)の現代語訳第2集。龍造寺隆信を下した沖田暁の戦い、秋月・龍造寺氏との肥薩和平など、九州統一に向けた動きの顕著な天正12年分を収録する。天正十二年あらずし/天正十二年正月~十二月/上井覚兼年譜/上井覚兼所在地年表(天正12年正月~天正12年12月)/天正12年頃の肥後周辺図/天正12年頃の有明海周辺図/天正12年頃の島津氏地頭・領主配置図/八巻孝夫氏作成の宮崎城縄張図(2013年)

◆後記

「知的情報の集積は社会的資産のひとつである」との信念のもと、「情報を探するための道具(ツール)」としての書誌作りを「一意専心」とする日外アソシエーツの創業者 大高利夫氏が、2020年8月28日に逝去され、この度、『日外アソシエーツ創業者 大高利夫追悼文集』(同社 2021.12)が編まれた(本号「寄贈図書紹介」50-51p)。『人物書誌大系』、深井人詩編『書誌年鑑』、数多の主題・人物書誌刊行と書誌データベースの構築・配信はもとより、同じ年の11月に亡くなられた深井さんらが立ち上げた日本書誌索引家協会や、書誌作成などユニークで社会的に意義のある各種図書館活動を表彰し図書館活動の社会的広報に寄与する図書館サポートフォーラムの事務局を引き受けるなど、同社が現代の書誌発展に尽くした功績は計り知れない。筆者は『書誌年鑑』の協力者であった時代、若気の至りで同社編集書誌の質を大高氏に質し、口論になった思い出がある。それでも、『地方史年鑑』のデータを同社の論文・雑誌データベース「MagazinePlus」に提供し、それを元に、筆者監修で『郷土ゆかりの人々—郷土史誌にとりあげられた人物文献目録』(2016)、『地名でたどる郷土の歴史—郷土史誌にとりあげられた地名文献目録』(2017)、『郷土に伝わる民俗と信仰—郷土史誌にとりあげられた民俗文献目録』(2018)を刊行させてもらった。こうした類の出版は同社の存在無くしては実現しなかったことで、感謝に堪えない。前掲三部作の編集者で、追悼文集を送ってくださった青木竜馬氏の添え状に、大高氏の目指したものはひとつの出版の歴史ではなかったと思量する、意志を引き継いで発展させたいとあった。是非そうあり続けてくれることを願って止まない。改めて大高氏のご冥福をお祈りする次第である。(飯澤)

地方史情報 153 2022年(令和4年)1月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。